

ぶらたなす 第60号  
 天使大学同窓会

編集発行  
 天使大学同窓会事務局  
 〒065-0013  
 札幌市東区北13条東3丁目1番地30  
 電話/FAX 011-712-1088  
 天使大学同窓会ホームページアドレス  
 tenshi-dosokai.com  
 年一回発行

2025年2月28日現在、同窓生 11,332名

「地の塩 世の光」

皆さまの  
 ぶらたなすは  
 おかげさまで  
 60号



ぶらたなす 44号より、バックナンバーを  
 同窓会ホームページで公開しています。  
 あわせてご活用ください。



天使大学同窓会 🔍

苦境を生き抜く力の由来  
—ある殉教者の喜びの言葉から—



天使大学学長  
田畑 邦治

最近ちよつとした縁で、カトリック教会が「福者」という称号で呼んでいる、デイエゴ加賀山隼人というキリシタンの生涯と遺言ともいえるべき言葉を知りましたので、共有できれば幸いです。ここでは、教会によるインターネット紹介記事の一部(やや長くなりますが)を引用します。

デイエゴ加賀山隼人は、小倉で、一六一九年十月十五日五十四歳で殉教し、同日、四分の日の出では、いとこの加賀山半左衛門が四十七歳で殉教し、さらにて十七年後の一六三六年には、隼人の長女小笠原みやと夫の玄也、九人の子どもたちと召使たちが共に熊本で殉教しています。

隼人は、十七歳の時、武士として高槻城主高山右近に仕え、その後、細川忠興に仕えました。忠興は隼人を高く評価していたにもかかわらず、時勢に準じてキリシタン禁制に踏み切りますが、有能な家来を失いたくないので再三隼人に棄教を迫ります。「地獄に主君と落ちるのが武士道」と説得しますが彼は納得しません。ついに家老の役職を取り上げられ、監禁され、一年間貧しい生活を送りました。忠興は、一六一九年、十月六日に京都鴨川六条河原で五十二名のキリシタンが火刑に処せられたのを目撃し直ちに加賀山隼人の処刑に踏み切ります。十月十五日に使者を送り、死を告げます。妻マリア、娘ルイザも共に殉教したいと願い出ますが聞き入れられま

せんでした。隼人は、「今後起こる艱難と苦勞の中に信仰を保つように、人生の苦勞は強く耐えることが全てではない。喜んで耐えたものだ」と妻と娘を諭し勧めました。その後全員跪いて祈り、デイエゴ隼人は燭台を手にして信仰の燃える証を表現しました。別れの盃を交わし、「パライソ(天国)で会いましょう」と挨拶し合いました。(後略)

私はこの簡素な報告から強い印象を受けました。とりわけ家族に遺した言葉の、簡潔ながらも高潔極まりない調べは胸に迫って忘れ難いものとなったのです。人生の艱難と苦勞を、喜びをもつて耐える、というこの教えは、誰もが人生において学んでいることであり、言葉だけを見ると決して難解な教訓ではないのですが、実際の人生において実行し貫き通すことは至難なことです。

ひるがえってみると、イエスの説話やベトロ、パウロの手紙などにおける、苦難と喜びについての言葉は、このデイエゴの精神に通じるものではないでしょうか。たとえば、信仰による試練にさらされてきた同胞にあてた使徒ペトロやパウロの手紙は、終始希望と信仰の励ましに溢れたものですが、特に「試練のさなかにある喜び」が目立っています。

今しばらくの間、いろいろな試練に悩まねばならないかもしれませんが、あなたがたの信仰は、その試練によって本物と証明され、火で精錬されながらも朽ちるほかない金よりもはるかに尊く、イエス・キリストの現れるときには、称賛と光栄と誉れとをもちます。あなたがたは、キリストを見たことがないのに愛し、今見なくても信じており、ことばでは言い尽くせない喜びに満ちあふれています。それは、あなたがたが信仰の

実りとして魂の救いを受けているからです。(Iペトロの手紙1:6-9)

試練の中の喜びとは、矛盾にはかなりませんが、この逆説を生きたることこそ、人智を超える天来の力によることではないでしょうか。

(わたしたちは) 大いなる忍耐をもって、苦難、欠乏、行き詰まり、鞭打ち、監禁、暴動、労苦、不眠、飢餓においても、純真、知識、寛容、親切、聖霊、偽りのない愛、真理の言葉、神の力によってそうしているのです。…… 悲しんでいるようで、常に喜び、貧しいようで、多くの人を富ませ、無一物のようで、すべてのものを所有しています。(パウロ、IIコリントの手紙6:4-5、10)

ぶらたなす六十号  
記念号によせて!



同窓会会長  
衛生看護学科二十六回生  
畠田 美穂子

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。ぶらたなす六十号記念号を発行する際に、多くの同窓生や皆様からのお便りをお寄せいただき感謝申し上げます。

六十号記念号に合わせて、同窓会室に保存されている会報誌を読む機会をいただきました。「ぶらたなす」の前身は「同窓会新聞」で、一九六六(昭和四十二)年天使女子短期大学同窓会新聞第二号が保存されております。第三号が同年十二月発行となっておりますので「同窓会新聞」は年二回発行されていたのかも知れません。推測すると記念すべき第一号は一九六五

(昭和四十)年ではないかと思いますが、残念ながら保存がなく、「同窓会新聞」はこの二回分のみです。

また、一九七二(昭和四十七)年第七号から「ぶらたなす」との名称で年一回発行となっております。現在に至ります。同窓会とともに「ぶらたなす」は着々と歩みを進めております。

その、「ぶらたなす七号」では、シスターセルビアナ様(中村タキ様)が「在校生には挨拶、忍耐、愛徳、思いやり、平和、よろこび、感謝などを一生懸命に教え、身につけるように努力しております。」と同窓生の皆様に向けて書いておられます。

思い起こしますと、私も天使短大を卒業して、はや半世紀になりましたが、入学当初の事を鮮明に覚えております。看護という世界に足を踏み入れた初日に、担任のシスターから「皆さんはドングリちゃんです。ドングリは背比べと言われるように人より優れて秀でた人もいませんし、劣っている人もいません。皆さん同じなのでドングリちゃんなのです」クラスメイトは多種多様な人生を送りましたが、シスターの教えを受けてお互いにつくしみ、思いやりの気持ちを持って人生を歩むことが出来ました。

また、同窓会ストラップの由来「地の塩、世の光」(マタイ5章13節)は、外崎陽子元天使短期大学学長の言葉が人間の生活に欠くことのできない塩と光のたとえをもって入会式に紹介されています。

シスターセルビアナ様(中村タキ様)の教えは、五十年経た今でもこの天使学園に脈々と受け継がれているのではないのでしょうか。最後になりますが、同窓会新聞一号からぶらたなす六十号まで絶えることなく皆様にお届けできましたことは、ひとえに同窓生の皆様の温かいご理解とご協力のたまものと心より感謝申し上げます。

## 同窓会のあゆみとこれから

同窓会は短大になり十年間は学長が同窓会長をされていましたが、昭和四十年に改正され、同窓会の手に渡されました。初代会長は、栄四

回生の伊黒寿子様が務められ、同窓会名簿の統一などに取り組まれました。以前からあった「同窓会報」はかたちを変えて「同窓会新聞」となり、やがて「ぶらたなす」として同窓生である

私たちをつなぐかけがえのないものとして発行され受け継がれていきました。また、同窓会役員の皆様は、セルビアアナ中村タキ先生が卒業

生の再会の場である総会を楽しみにしていられしやうなことから、総会の出席者を増やすためにご尽力されたり、できるだけ多くの同窓生に同窓会活動に参加していただくために役員の任期を原則二年としたり、会員把握のためのクラス幹事制を導入したりと運営の工夫もされてきました。

一九九〇年には「タキさんの店」が開店しました。「タキさん」という名前は一九四七年天徳短期大学創設時におられた修道女であるセルビアアナ中村タキ先生に由来しています。先生は当時日本でただ一人、看護師、医師でもあり一九八七年に八十五歳でご生涯を終えられ私たちの心と身体に大切な教えを宝物としてくださいました。その心を引継ぎ、現在も「タキさんの店」を同窓会福祉部で継続しています。

二〇〇〇年に四年制大学となり、翌年には新同窓会事業として、大学購買部の設置、IT事業、奨学金制度運営の三本柱が承認され、会員

の皆様のご協力とご支援によって同窓会ホームページの開設など多くのことが成され、二〇〇七年には会則・細則の見直しが行われ、クラス幹事が同窓会運営に大きく関与してまいりました。

時代は移り、現在さまざまな世代の同窓生が

「地の塩 世の光」のもと、時代のニーズや課題に取り組みながら活躍していらっしやいます。これからも同窓会の皆様へ愛を届ける「ぶらたなす」を目指していきます。

## 衛生看護科四十一回生とシスターセルビアアナ様との思い出

衛生看護科二十三回生 菅原 邦子

二〇二四年十月二十六日、四十一回生のクラス会があり、私も出席しました。その際、シスターセルビアアナ様にまつわる思い出話が話題に上り、懐かしさが募りました。ここで改めて、四十一回生とシスターとの出会いについてお話ししたいと思います。

一九八七年四月、私は衛生看護科四十一回生の一年生の担任となりました。担任としてクラスを受け持つにあたり、私が学生時代にお世話になった医師であり看護科の教員であったシスターセルビアアナ様について学生たちに話をしました。「セルの(布)がピリッと破れてアナ(穴)があいた」これが私の名前、セルビアアナです。一度で覚えられないでしょうか？」とシスターは笑顔で自己紹介されたことを伝えました。シスターセルビアアナ様は日本名「中村タキ」とい

い、「タキさん」のお店のシスター」として親しまれています。特に印象深かったのは、シスターが入学生全員の名前を覚えており、入学式の際には一人ひとりを名前前で呼びかけてくださったことです。クラスメイトたちは、そのことにとっても驚いていました。また、シスターは学生たちにさまざまなこと身をもって実践し教えてくださいました。トイレ掃除の仕方、窓ガラスの拭き方、雑巾の絞り方、洗面器の拭き方、お庭の草取り、挨拶の仕方、おメダイにまつわるお話、さ

らには国家試験前の解剖生理学の補講まで、多岐にわたる内容でした。シスターへの尊敬の念を込めて、私が「シスターは現在天使病院に入院されています」と学生たちに伝えたと、学生達は「ぜひシスターにお会いしたい」と希望しました。

私はシスターの病室訪問を計画し、学生達は三グループに分けて引率しました。学生達は千羽鶴を折り、聖歌三三三番「あめのきさき」を練習して訪問に臨みました。病室を訪れると、シスターはベッド上で起座し、私たちを迎えてくれました。そして、元気な声で嬉しそうにこうおっしゃいました。「一年生なの、まあ、あなたたち、看護はねやって見ないとわからないのよ。まずは実習に行きましょう。そして、実際に仕事をしてみないと、本当の看護はわからないのよ」と、その言葉に感動し涙を流す学生もいました。みんなで聖歌を歌い病室を後にしました。シスターは、一九八七年八月六日享年八十五歳で帰天されました。九月六日には、同窓会主催の追悼ミサが短大の講堂で行われ、四十一回生もこのミサに参加し、天国での安らぎを祈りました。この写真はその際に撮影されたもので、追悼ミサでは、永遠の安らぎである主神様に近づき、まみえる喜びを歌う賛美歌「主よみもとに」が、シスターへの感謝と祈りを込めて厳かに響き渡りました。

クラス会の時、一人の卒業生がこんな話をしてくれました。「映画『タイタニック』を観たとき、客船がいよいよ沈みかける中で楽団員が奏でたメロディが『主よみもとに』の賛美歌だったんです。シスターの追悼ミサで何度も歌ったあの曲だと思ひ出しました。ただ綺麗なメロディというだけでなく、亡くなっていく人々が神様のみにとどまりつこうよとの祈りを込めた賛美歌だと知っていると、映画の観方が全く違う体験になりますね。」

この話を聞いて、改めて思いました。学生時代にシスターが示してくださったのは、専門知識や技術だけでなく、経験を通して心に刻まれるもの。その一つひとつが後になって豊かで意味深い体験であり、その人の人格の基盤となっていたことに、そして、これこそが受けた教育の誇りであると気づかされるのです。

四十一回生は、もうすぐ還暦をむかえるそうです。その時まで元気に生きて、また集まって思い出話をしたいと願っています。絵本作家の角野栄子さんは「思い出は未来のためにある」と言っています。至らぬ担任だったと思いますが、皆さんの笑顔にいつも救われ、見送られて帰路につきました。卒業生の皆様から感謝申し上げます。



「タキさんの店」そして「シスター中村の祈り」

栄養科十二回生 山口敦子

「タキさんの店」とは現在同窓会福祉部が行っている手作りのお菓子を学生のために販売しているお店の名前です。短期大学の卒業生有志が中心となって活動が始まったそうです。先輩の方々が調理室で楽しそうにお菓子を焼いていた様子が印象に残っています。

今は同窓会福祉部とボランティアの卒業生がお菓子を作っています。ココアや抹茶、ドライフルーツなどを入れたシフォンケーキ、ブラウニー、マフィン等が並ぶバラエティに富んだお店です。開店は大学祭と九月の二回、また、十二月には全学生にお菓子をプレゼントしています。美味しいと評判のお菓子のお店は長い歴史を持っていますが、一九四七年から一九七五年まで天使女子短期大学の教員をされていたシスター中村が生涯を終えられた後の一九九〇年に、シスターのお名前である「中村タキ」にちなんで「タキさんの店」と名前が付けられました。

シスター中村 (シスターセルビリアナ様)のご担当は看護学 (厚生科) と解剖生理学 (栄養科) でした。当時日本でただ一人の看護婦 (当時) と医師であったシスターの解剖生理学の講義はとても実践的でした。シスターは、天使ならではの「労作」という授業も担当されていました。シスターの指導の下、当時正面玄関があった木造校舎の廊下にロウを塗って学生たちがピカピカに磨き上げました。また、「雑巾は真っ白にするのです」と石けんを使った雑巾の洗い方を教わったことも思い出に残っています。

長い間栄養科の担任をされましたが、栄養科の寮であるアスタホームにはほぼ毎日来られて、朝・夕の祈りや部屋の整理整頓、その他多くのことを指導してくださいました。ある時は厳しく、またある時は温かな思いやりのあるお人柄は多くの学生から慕われていました。卒業生がお店の名前にシスター中村のお名前を冠した理由が良くわかります。

シスター中村は学生のことをとても大切にされていて、入寮・入学の時には既にすべての学生の名前を覚えて迎えてくださっていたことは多くの卒業生の記憶に残っているのではないのでしょうか。後にシスターから伺ったのですが、「写真と名前を何度も何度も見て記憶したのよ」と仰っていました。シスター中村は若い学生達に負けない記憶力と行動力があり、教育に情熱をもって唯々学生のことをお考えでした。私は学生時代と天使に勤務してから数年の間、シスターにご指導いただけたことをとても幸に思っております。

シスター中村はいつも仰っていました。「私は過去・現在・未来の学生のために祈っているのよ。」  
全ての卒業生と天使大学の学生のことを、今もこれからも祈っていてくださると思います。



今年度も「タキさんの店」を開催しました

2024年6月15日 天使祭で、「タキさんの店」も出店!!

今年は鶏インフルエンザも落ち着き、卵の供給の心配も無く、マフィンやパウンドケーキ等、色々な種類のケーキを作る事が出来ました。半年振りの福祉部の活動でしたが、慣れた部員も多く、スムーズな作業で調理室のオープンフル稼働。前日に焼き菓子、約500個を製作しました。学生さんが、荷物の運搬やケーキ作り・袋詰めも手伝ってくれて、とても助かりました。天使祭1日目のみの販売となりましたが、タキさんの店を楽しみに来てくれた方も居て、盛況のうちに、全てのケーキを販売することが出来ました。



栗マフィンができました!

2024年9月12日 第2回「タキさんの店」を開催!!

今回は無かったシフォンケーキを含む焼き菓子約500個を製作しました。今回は学生のお手伝いには感謝です。販売時は長い行列ができ、どんどん売れていきました。最後は事務の方にも買って頂き完売し、安堵の気持ちでいっぱいになりました。



2024年12月12日 第3回「タキさんの店」を開催!!

今回は焼き菓子約550個製作。クリスマスが近い事もあり、学生・教職員に一人1個プレゼントとさせて頂きました。どの学生も、とても喜んで、笑顔で選び・受け取ってくれ、作る側も、とても嬉しくなりました。また、荷物の運搬、ケーキ作りや包装にも沢山の学生が関わってくれた事も、とても嬉しく思います。



# インタビュー

## 「タキさんの店」を支えるボランティアの皆さん



### 先輩や同期のつながりがあってベテランに



栄養科24回生 藤田美恵子さん  
 栄養科25回生 酒井久美子さん  
 タキさんの店のボランティアに参加するきっかけは、同窓会のお手伝いや、病院に勤めている同期に誘われて、先輩に誘われてなど、さまざまです。

### 皆さんに美味しい栗のおすそわけ



栄養科24回生 青野尚子さん  
 今日は、家で栗をむいて持ってきました。ボランティア歴は思い出せないくらい長いです。何十年もやってきました。最初は同窓会で理事をしている友人に誘われて。もっと先輩がたくさんいらっしやったんですが、参加されなくなって寂しいこともあります。若い人にも参加してもらいたいですね。

### 皆さんとおしゃべりしたり若い方との交流が楽しみ



栄養科10回生 大平ひろこさん  
 2001年から参加しています。同期で参加している方がいて、ケーキ焼きに行っているんだって言われてごちそうになって、その方に誘われて参加したのが最初ですね。同じ10回生が4・5人いたんですけども、皆さん亡くなって私だけになってしまいました。

一度いらしてみると楽しいですね。コロナの前はお昼持ち寄りでおしゃべりして帰って、楽しかったんです。自分たちで持ち寄りお昼を食べてお話しして楽しかったんですよ。以前は、夏休みと冬休み以外にもっと頻繁にあって、今は3回ですが、年に5・6回あったと思います。年齢の近い方がたくさんいらっしやるんですが、私より年下の方は20回生くらいですから、間の年齢の方がちょっと少ないですね。やっぱり若い方と交流するのが楽しいですね。タキさんの店はずっと続くでしょうから、若い方も卒業して機会があったら是非参加されると良いと思います。

### 雰囲気の温かさに惹かれて癒されている

看護学科3年 亀谷ななみさん 亀谷みなみさん

1年生の時からボランティアができる時は全部参加させてもらっています。参加してみて、雰囲気とか皆さんとても優しく暖かくて、次学生さんやごらんって言うてくれたりします。楽しくお菓子作りができるっていうのと、同窓生の皆さんと触れ合えるとか関わるとか、すごい良いなと思っていて、名前を覚えてもらったりすると嬉しいです。

卒業生の方がいっぱいいて、その時の当時のお話とか、「昔はこうだったんだよ」とか「大変でしょ」とか、実習のつらさとかもあったので優しい言葉を掛けてくださって、なかなかない交流なので貴重な経験をさせてもらっています。海外で看護師をして活躍された方もいらっしやって私も目指したいなとか、お菓子作りながらいろいろなお話を聴けて、将来に向けてこれからどうやって頑張っていくかとかという話を聞けてとても良い経験になっています。

### たくさんのお菓子を先輩と作るのが楽しい

栄養学科4年 寺永みのりさん

ずっと手伝いに行きたいなと思っていて、今回4年生になって空き時間も増えたので今しかないと思って参加しました。すごく楽しいです。お菓子作りをすることがなかなか家ではないのと、あまりこういうように大量につくこともないので、すごくいい経験になりました。もし機会があったらまた来てみたいと思います。



### 2回目の参加を楽しんでいます

栄養学科3年岸本 想永さん



タキさんの店は毎回買いに行くぐらい好きだったので、ずっと参加したいと思っていました。授業があったので参加できないことも多くて、3年生の後期になってやっと参加できています。

## 一緒に「タキさんの店」をやってみませんか？

今年度も無事「タキさんの店」を3回開くことが出来ました。一時期、コロナで開催出来ない年もありましたが、無事開催出来た事を感謝したいと思います。毎回、少しずつ種類を替えるのを考えたり、材料の用意をしたり、前日の計量からケーキ作り・包装・販売と沢山の人の手がかかり、福祉部だけでなく、お手伝いの方々には、毎回お世話になっています。年齢や学部を越えての交流、学生や大学と関わる事も出来、とても楽しい時間です。是非、沢山の参加を、お待ちしております。ご希望の有志の皆様は、同窓会事務局まで、是非ご一報くださいませ。

同窓会福祉部理事 笹原・石川

# 活躍する同窓生

## インタビュー

記・広報 吉田

### 松井 牧子

衛生看護科 二六回生



二〇二四年七月、島田会長と市立三笠高校の校長である松井牧子さんを訪ねました。これまで市立三笠高校の校長は道教委職員を採用していましたが、松井さんは市教育研究所の所長を十年間勤めたのち、初めて市教委が選任した校長となりました。

三笠高校では、学校の向かいで高校生レストランを運営しており遠方から食べに来られる方もたくさんいて、取材当日もレストランは大変賑わっていました。また、生徒の笑顔やおもてなしに優しい心が感じられ、人気の理由は一貫した教育にあるのではと感じました。

### つながりを大切に教育

天使では、シスターから学ぶ姿勢、日常生活すべてにおいて教えていただいたと思っております。愛と真理に生きるといえるのは、教育でも医療でも栄養でも生きていく上で連なる言葉なので、これまで天使の教えは常に頭にありました。

養護教諭ではなく、担任として勤務したらどうかと先輩に言われたことがきっかけで、教職課程を取得できる大学で学び、教諭として道教委の採用となりました。初めての担任は、悩みも多く奮闘しましたが、5・6年生担任として卒業生を出したときは、ホッとして教諭としての力を高めたいと授業実践を重ねました。その時に担任として卒業した生徒を英語教師として三笠高校に赴任してもらうことができました。活躍しており、このようにつながりができることが、とても嬉しいです。

教師としては、大変責任あることから研鑽を重ね努力してきたつもりですが、不十分なことも多くあったと反省します。ただ、最後は人と人とのつながりがあったからこそ今の自分があると思います。天使の時代もそうですし、このように取材に来ていただいているものつながりですね。教員としてのキャリアの最後に、三笠高校に勤務できるのも、現在の教育長のお力添えで実現したことです。市長の四大プロジェクトのひとつが三笠高校の安定経営ですから、三笠の将来を見据えて長期展望の中で高校の発展に向けて取り組んでほしいという考え方をしっかり受け止めたいと心しています。このことから結論から言うことやっぱり人との関わりが自分の人生を開いていくんだなというのは実感としてありますね。何が一番大事かという、それまでに築いた友達です。一生ものの真の友達を大切にしてください。人生を健やかに楽しく豊かにするのを感じています。同級生が先日も高校生レストランに食べに来てくれて、やっぱり一人じゃ

きられないし、それは当たり前なんだけれど、天使で学んだやっぱり愛なんですよ。人間愛なんです。大学時代に学んだことが今だにつながっていますよね。ぜひ、在校生の皆さん、卒業生の皆さんも「愛をとおして真理へ」の理念を心に刻んでしっかり成長して欲しいです。

空知、三笠の魅力は、やはり自然と人情ですね。空気が澄んでいて山々があつて桂沢湖があつて、豊かな自然があるのでメロンやスイカなどの農産物も美味しいんですが、炭鉱町だったために、今は衰退していますけど、やっぱり人とのつながりというのが三笠は結構密で、思いやりのある町だなと思っています。北海盆踊りが発祥の地で、記念ドラマも



笑顔が素敵なホールスタッフの生徒さん達

制作されているんですが、高校生レストランも取材に来てくれました。炭鉱で命もどうなるかわからないから、昔はお盆の三日間は炭鉱を休んで皆で命の火を灯すように踊り明かしたそうです。今も一晩で三千人以上が来るんですよ。

三笠高校は開校して10年、次の10年に向けて学校をまた見直して変えていかなくてはいけないと思っています。製菓衛生師国家試験の合格を開校以来100%達成しているの、生徒の心の教育とともに、かなり勉強にも力を入れて取り組んでいるところです。天使大学に毎年1人ずつでも入学できたら、つながりがひろがっていくのかなと思います、今後を楽しみにしているところです。



青春御飯を頂きました

## 山際 昌枝

栄養科三十五回生



二〇二四年十一月、山口副会長と小樽市立桂岡小学校の校長である山際さんに取材をさせていただきました。札幌市や北海道で栄養教諭制度の運用や学校における食育の推進に関わってこられ、現在は校長として、食育を基盤とした学校経営に学校、家庭、地域一丸となって取り組んでおられます。

### 食育を通して切り拓いた道

卒業して十数年後、札幌市では学校給食の改善事業が始まり、そのモデル校で様々な改善に取り組みました。その後、学校給食の衛生管理の基準がドライシステム（床を乾いた状態で使うシステム）に変わる時期も経験しました。学校栄養職員として多くの授業に関わらせていただいた後、札幌市で栄養教諭制度を導入する準備のために、市教委栄養指導担当課に異動となりました。そこでは、各種調査、研修、栄養士が配置されていない小規模の学校や夜間学校給食を行っている定時制高校の巡回指導など、様々なことを経験することができました。

その期間に栄養教諭の免許を取得しました。二〇〇五年に「食育基本法」が制定され、子どもの食育が重要視されました。栄養教諭制度が誕生し、管理栄養士の専門性を生かした職務内容が明確に位置付けられ、個別的な相談指導や各教科等の時間に食に関する指導が行えるようになったことは画期的なことでした。諸先輩方の長年の努力の賜物であることに感謝し、栄養教諭の名に恥じない仕事をしなければと思いました。

子どもたちが栄養バランスを考えて自分で料理を選ぶ自己管理能力を育む選択給食や、家庭と連携した給食指導に取り組みました。食事のマナーなども子どもたちに身に付けさせたいことは、学校給食だけの特別作法ではなく、家でも学校でも同じようにすることの大切さについて先生方と共通理解を図り、教室ごとにバラバラだった指導内容や考え方を統一したのです。また、単に給食を食べるだけではなく、料理や食材や産地地消に関するするなど、その日の学校給食を通して子どもたちに知ってほしい情報を「給食メモ」として毎日教室に届けました。そのメモは、先生方の工夫で、社会科の県名や主な特産物の学習にも役立つようです。栄養教諭はコーディネーターであることを実感する日々でした。

学校給食の充実と学校における食育の推進を図るため、初めて栄養教諭の指導主事を配置することを決めた道教委へ指導主事として入りました。それが二〇一二年でした。食育の推進や衛生管理の指導のために道内各地を回り、たくさんの人と出会うことができました。また、栄養教諭の育成や食育の推進を図る研修企画などを通して指導助言を行うなど、とてもやりがいのある十年間でした。天使の卒業生にもたくさん出会うって思い出しましたが、若い卒業生の指導には特に力が入りました。二〇一六年には、文科省の委託事業であるフードロス削減の取組「社会的課題に対応するための学校給食活用事業」を実施し、山口敦子先生のご協

力をいただいていた産地地消の推進のための冊子や動画を作成しました。委託先の網走市で先生を囲んで天使の卒業生で食事をしたことも思い出されます。その後、課長補佐として部下職員の指導や議会対応にも関わる仕事をしました。道教委の仕事は重圧もありましたが、それぞれの市町村の魅力的な食材を生かし、ポリシーをもって食育を展開しようとする栄養教諭の姿や子どもたちの姿が励みになりました。研修や調査など様々な事業を行う中で、菅原千鶴子先生、山部秀子先生など多くの先生方のご協力をいただいたことに改めて感謝しています。

女性管理職の登用推進もあつたと思いますが、課長補佐となり、残り四、五年というキャリアの時に、校長をやってみないかと声を掛けられました。とにかく不安でいっぱいでしたが、学校における食育を推進していくにあたり、栄養教諭が一人で何かをやるうとしても広がりがなく、連携して取り組むために協力してくれる先生はもちろんですが、リーダーシップをとる校長の理解の重要性を感じる場面を何度も経験していたのでチャンスだと思いました。望ましい生活習慣の定着は学力と体力の向上の基盤になるもので、これまで携わってきた食育を特色にした学校づくりができるかもしれない。それには家庭とつながり、地域の協力を得なければならぬ。そのような関係を強固にしながらか学校経営に挑戦してみたいと思いました。

現在は、小樽でも札幌に近い、全校八十三名の児童がいる小学校で校長をしています。素晴らしい地域に恵まれ、教職員、保護者、そして地域住民に支えられて、子どもたちと楽しく過ごしています。子どもたちは人懐っこく、とても素直です。

着任当時の教育長から、体育と食育の両輪で特色ある学校をつくってほしいというミッションをいただき、自分の専門性を生かした学校経営をさせてもらえることに感謝でした。先

生方の研究も体育の授業改善と食育の推進の体制を組み、併せてPTAの組織にも健康部会を新設するなどの変革をしました。『早寝・早起き・朝ごはんプラス運動』を合言葉に掲げて、毎日朝ごはんを食べる登校することや、登下校や遊びの時間も合わせて一日一時間以上運動する目標をつくって、取り組んでいます。また、小樽市の給食センターに先生方が指導するための資料「給食メモ」を提供してほしいというお願いをしました。今では給食の時間には、担任の先生方がその資料を使って指導することが定着しました。本校は家庭との双方の連携を研究の重点に置いて取り組んでおり、各教科等の時間や給食の時間において、自分の食生活を振り返る場を設定したり、学んだことを家庭で生かすことができる指導の工夫をしたりして、子どもの自己管理能力を高め、日常生活で実践できる力を育てることを大切にしています。

天使で学んだことは全て仕事の基盤になっていると思っています。信念をもって仕事をすると精神の強さのようなものも天使で培った力ではないかと思っています。天使で学んだことは誇りと自信にもなり、天使パワーのおかげで仕事を続けてこられたのかも知れないですね。支えてくださった先生方や諸先輩、同期の方々には本当に感謝をしたいです。

私は病院の栄養士に憧れて、天使に入学しました。民間病院や札幌市立病院へつながる市職員の試験を受け、最初の頃は市立病院への異動の希望を持ち続けていましたが、いつの間にか、学校給食を通して、病気を予防する観点から児童に指導する学校栄養士の面白さに魅せられ、今に至っているのかなと思います。栄養教諭から校長になる道があるということの後輩たちに残すことができました。



# 活躍する同窓生

寄稿 ①

## 山下 加代

大学院助産研究科(教育)四回生

在学中の神奈川県での助産院実習での学びが忘れられません。受け持ち妊婦さんが予定日を過ぎて産まれず、嘱託医の医院での誘発分娩後に陣痛発来し、助産院での分娩となりました。児は経過していく中で、「何となく元気がない」と県立の病院へ搬送となりました。地域周産期母子医療センターで緊急時の体制が整えられた病院で日々勤務している私にとって、再度、助産師としての責任の重さを感じた実習でした。また、マネジメントも学ばせていただき、経営、教育、地域との連携、様々な視点で学習ができ、これからも忘れられない大切な時間となりました。

卒業後は、産婦人科・小児科病棟の看護課長を経て、現在、社会医療法人母恋日鋼記念病院で教育担当の副看護部長として勤務しています。コロナ禍を経験し、教育における今までの慣習を見直し、「人材教育とは」を改めて考え直す三年間でした。在学中に、近藤先生から教えをいただいた「成人学習理論」が今も頭をよぎります。新入職員と面談しながら、時には私のほうが元気をもらい初心に返ることがあります。今後も人との出会いを大切に、「生涯学習」を実践していきたいと思っています。

全国の同窓生のみならず、日々ご活躍されていることと思います。またどこかでお会いできる日を楽しみにしております。在校生のみならず、級友との今のこの時間を楽しんでください。これからの人生において、とても大切な友となると思います。

## 久野 真澄(旧姓:佐藤)

衛生看護科二十七回生、専攻科十二回生

うもくれ奄美大島へ

(いらっしやい 奄美大島へ)

つれづれなるまに)

今年、古希を迎え、生涯現役を旨とし奄美大島で開業助産師として、地域の母子保健活動に奮闘中です。奄美大島で夢を叶えてみませんか？ 私は看護科の分娩実習で、女性の素晴らしさ、生命誕生の神秘に魅せられて、卒業後助産師として天使病院で二十六年間、在職中は乳房ケア無くして産褥ケアはないと、桶谷の技術を研鑽し認定を頂いたり、BFH(母子同室)の取り組みや産科看護単位の一本化など岩崎先生、有賀(敏)先生、南部先生、一緒に取り組んだ素晴らしい同僚、仲間たちに支えられ、充実した臨床経験の日々でした。感謝に堪えません。

平成十六年天使病院を退職し奄美大島へ転居し二十年を迎えます。奄美では瀬戸内町役場で、保健師として八年間、母子保健業務、包括支援センターでケアマネ、地域づくりに関わり、定年退職後「ひさの助産院・母乳育児相談室」を開業し十年になります。役場では天使病院での経験、知識、学びがフル回転し、住民サービスに役立ち、そこで学んだことは「人生に無駄というものは何一つない。すべての経験は今に繋がりを生かされている」ということでした。恩師、故斎藤和子先生が言われていました。専攻科の開設にあたり「人の命を大切に出来る助産師を育ててほしいと熱望され、専攻科を開設し、助産師教育に携わった」と。私は教え子としてその使命を受け継ぎ、これからも邁進したく思います。現在、役場の委託を受け、新生児訪問、産後ケア、乳幼児健診、子育て支援、性教育、高齢者の支え合いサロン、女性のための健康講座(終活含む)など活動を広げています。

助産師は「揺りかごから墓場まで」家族の幸せのため女性の一生に寄り添う仕事です。瀬戸内町は人口約八千人の小さな町です。小さいからこその仕事マンデイ(たくさん)！私の課題は後継者づくりです。世界遺産に登録され、自然豊かな人間味あふれる、この奄美大島で活動したい、助産師さん「大募集中」です。夢叶える癒しの島で一緒にお仕事してみませんか？ 近頃、思います。道産子の私が何故、南の端での奄美大島、またまたその先端の加計呂麻島に住み、碧い海を眺めながら、船通勤に四苦八苦！ しているのだろうか。すべて、神様のはからいの中で生かされています。これからも、神様を信じ、喜びの内に生き続けられますように祈るばかりです。

【二ツクネーム】まこ

【恩師】斎藤和子先生

【思い出】シスター滝谷の労作の時間・合唱コンクール・学園祭



## 北村 和弘

大学看護学科四回生

在学中に学んだ建学の精神「愛をとおして真理へ」あれから二十年、私は病院建設に携わらせて頂く事となりました。看護師の視点として建設にむけて最も必要なことは何か、患者の安全性と快適性はもとより、スタッフの動線や効率性など働きやすさへの配慮、そんなことを考えているとき、一人の患者様からヒントをもらいました。「ペットがいるから早く退院したい」ペットは家族の一員であり、ペットへの思いは愛情を超え、共に過ごす時間の中で培われた深い絆が込められています。入院中に愛するペットと触れ合う機会を作ることができないか、その思いを叶える「ペット面会スペース」を新病院敷地内に設置することが承認されました。困難な時期を乗り越える力となり、無償の愛と安心感を与えてくれるペット、患者様に愛と癒しを提供できる病院づくりが出来たことは、建学の精神からの学びがあったからではと、いま感じています。

【恩師】ケン神父

【思い出】生と死のゼミ



### 近藤真珠美 (旧姓：奥田)

専攻科十六回生

#### オホーツクの小さい町からのお便り

皆様お元気ですか？ 住み慣れた根室の町から夫がコウモリを研究するため十年前に大空町に移住しました。大空町は人口六千五百人、年間出生数二十人、四季の畑の風景がとても綺麗なところです。新鮮な野菜も安価で買うことができます。とても美味しいです。こちらに来て月に一〜二回乳幼児健康診査の仕事をして頂いていました。地域の保健師、助産師の皆さんとの出会いに助けられ、昨年より開業し産後ケアで大空町の赤ちゃんとお母さんの訪問をしています。先日、大空町の地域おこし協力隊でベビータン



スの考案者&インストラクターの山本由美子さんとコラボして、ベビータンズとランチ会を開催しました。田舎ではお母さんが小さい子どもをつれて集まる場所がないのが現状です。地元知り合いのいないお母さんも多く交流の場として活用していただきました。微力ですが地域のおばさん(おばあちゃん?)として子育てのサポートができれば幸いです。神様は私のような小さな道具も使われるのだなと思う次第です。  
神に感謝!!

### 川上紗也奈

大学院助産研究科十九回生

私は助産師として病院に就職し、九月まで小児科、十月から産科で働いています。初めての一人暮らしでなかなか慣れないこともありましたが、半年が経ち、ようやく仕事とプライベートの両立ができるようになりました。天使大学院では、愛をとっておして真理へを軸とし、助産について深く学びました。お母さんや赤ちゃんはもちろん、出会う全ての方々に、まず愛を持って接することを大切に日々生きています。天使大学院で学んだ知識や技術、そして助産に対する考え方は、必ず今後の自分の糧になると思っています。在学生の方々は、毎日忙しい日々を送っているかと思いますが、学ぶ環境に居られることは素晴らしいことです。その環境に感謝しながら、今学べることをひとつひとつ大切にしたいと思います。皆さんが素敵な助産師・看護師になることを祈り、私も日々精進していきたいと思っています。

【恩師】片倉先生

【思い出】助産院実習での分娩介助

### 金澤 純子 (旧姓：田村)

衛生看護科三十一回生、専攻科十六回生

天使短大で過ごした四年間は宝石箱にキラキラ輝く思い出がいっぱい詰まった青春そのものです。平日はアンジュアンサンブルでマンドリンを奏で、夏休みは小樽の天狗山でマンドリンの合宿の後、山岳部で大雪山縦走。日々の勉強や実習の合間に年に数回は近郊の山に登山に行くという生活と仲間にも恵まれました。看護実習で受け持った切迫流産の妊婦さん、末期の肝臓癌の男性、救急外来で運ばれた自ら生命を絶たれた主婦の方、予定日より早く生まれてしまった受け持ちの妊婦さん、今でも忘れません。本からは学べない実践の日々でした。シスターや先生達との出会いも新鮮で、前田博子先生が創立三十周年のルーツを辿る旅から帰られて素晴らしい話を語ってくれたことで、二十歳の記念に同級生



天使大学の校旗のデザインの元となったシンボルのあるマルセイユの教会で

と初めてのヨーロッパに行きました。そして創立七十周年の時、還暦の記念に同窓会主催のルーツを辿る旅を同級生に誘われ恩師と一緒に巡ることができました。

昨年は十勝川温泉で看護科のクラス会を行い、それぞれの人生を深めた姿と変わらない友情に感動しました。また、同窓会の十勝支部で世代を超えて仲良く楽しく活動させていただいています。天使で培った好奇心と行動力で先日六十六歳のゾロ目の記念に専攻科の同級生とカナダにオーロラを観に行つて来ました。本場に「天使に行つて良かった！」と心から感謝しています。

【ニックネーム】 たむじゅん

【恩師】 丸山知子先生

【思い出】 看護科三年生の合唱コンクールの優勝

### 平山 琴美

大学栄養学科二十回生

現在は五十床程度の病院で栄養指導や栄養管理をメインに働いています。規模の小さな病院なので、委託の栄養士さんと私の二人で協力して栄養士業務を行っています。休日は職場の方とご飯やヨガに行くなど楽しく過ごしています。在学中の学びは日々の業務に役立っています。最近役立ったのは病院実習で学ばせていただいた嗜好調査の経験です。実習では調査結果のまとめ方に苦労しましたがそのときに丁寧にご指導いただいたので、今年、業務として行った嗜好調査はスムーズに終えることができました。

同窓生のみなさまには学会や同窓会などでお会いできることがあるかと思っています。その際はよろしく願います。学生のみなさまにも実習や卒業されたからの同窓会などでお会いできることがあるかと思っています。その際はよろしく願います。

【恩師】 志賀先生

## 各支部より皆様へ

### 関東支部

支部会員の皆様お変わりございませんか。「すずかけの樹」23号は、お手元に届いていますでしょうか？今年も4月13日(日)にアルカディア市ヶ谷で総会・懇親会を予定しています。札幌から同窓会会長さんにもご出席頂き、大学の様子などのお話をさせていただく予定であります。沢山の会員のご出席を役員一同、お待ちしております。昨年懇親会の写真を掲載致します。楽しかったですよ！



支部長：内田雅子 (看24)

### 関西支部

関西支部のみなさま、お元気でいらっしゃいますか？

漸く往復はがきを出すことができましたが、ご多忙のところ返信を下さったみなさまには、心から感謝申し上げます。

関西支部は広いので、zoom等での会合をもつことはもちろん、小さい規模ながらもみなさまと直接お会いする機会を設けたい、と切願しております。

天使で繋がれたご縁を大切に育んでいくため、どうか皆さまの「力」をお貸しください！

温かいご協力をお待ちしております。

支部長：山本(前川)亮子(専37、助産研2)



### 南石狩支部

南石狩支部では、今年度会員421名にお便りを出し、10月5日(土)に大学を会場に集会を開きました。当日は10名の参加でしたが、同窓会長さんも一緒に参加してください、職場の同僚を誘ってくれた方もいました。最初は校内見学。何度も増築され迷路のようでしたが、大学になって2020年に完成した新館の1階には、同窓会からの素敵なステンドグラスが飾られていました。自分たちが学んだ時の校舎も机やイスなどが新しく変わっていましたが、このあたりに座っていたと懐かしく思い出している方や今はシスターが不在で寂しい気持ちを持った方もいました。その後、「創立70周年記念」のDVDを見て、お弁当を食べながら、自己紹介をして歓談しました。初めての集まりで慣れないことが多く、参加された方に助けていただき、無事に終了しました。今後もこのような交流の機会を持ちたいと思います。皆さんどうぞ誘い合ってご参加ください。



支部長：関 真澄 (栄31)

### 十勝日高支部

今年度は、10月19日に支部総会を校歌斉唱から始め、学生時代を思い出しながらの開催となりました。男の料理教室の方向性、次年度の役員改選が承認され、8月25日の浦河町での日高在住会員と親睦を深めた様子も報告されました。

懇親会は、支部活動の礎となった会員のことが紹介され、昭和30年代から受け継がれてきたバトンを、大切にしたいという思いを新たにしたり、来年も楽しい近況報告ができるような1年にしたいねと、畷田会長を交えて終始笑いどおしの2時間でした。

どうぞ、次の機会にはお会いできることを楽しみにしています。

支部長：太田千鶴子(専16)



### 上川留萌支部

2024年9月29日(日)旭川ときわ市民ホール調理室にて『心も体もよろこぶオードブルを作ってみませんか?』と題し、調理実習を実施しました。講師は、旭川在住『お料理工房ツッチの台所』の東海林智里さんです。当日は晴天に恵まれ、札幌から参加して下さった畷田会長を含め14名での開催となりました。若い方から最高齢は、80歳代後半の先輩まで、幅広い年代の方にご参加いただきましたが、皆さん楽しそうで良い研修会となりました。ご参加いただきました皆様ありがとうございます。参加されなかった方も、来年、また同じ時期に開催致しますので、是非ご参加ください。お待ちしております。



支部長：大里寿江(栄33)

### オホーツク支部

令和6年度の支部集会は10月20日に「バスに揺られてぐるっと常呂」と北見市常呂町を目指してのバス旅を実施しました。鶴雅リゾートホテルでのランチに始まり、ところ遺跡の森で大量の出土品や復元された竪穴式住居を見たり、またカーリングホールでは実際のストーンを持たせていただいたり練習を見学。最後に海産物屋さんでお買い物。夫々の場所でもとても楽しい時間を過ごす事ができました。食べて、笑って、いっぱいお喋りをして、少しだけ歩いて健康的なバス旅になりました。



支部長：北中順子(栄17)

### 各支部への連絡方法

各支部への連絡・メッセージ等は、同窓会事務局を通じて承っております。お気軽にお問い合わせください。

(連絡先は裏表紙参照)

### 空知支部

今年こそは懇親会を開催しようと思っておりましたが、なかなか実現できずすみません。今回も皆様の近況を伺い、メッセージとしてお送りしたいと思っております。皆様のご協力お願いいたします。そして次年度は開催したいと思っておりますので、楽しみにお待ちください。

連絡担当者：近藤朋子(栄41)

## 学校法人藤天使学園発足記念式典・講演会について

2024年6月1日(土) 藤女子大学講堂において、「学校法人藤天使学園発足記念式典」が行われ、同窓会からも理事が出席しました。

式典には、カトリック札幌司教区教区長の勝也太治司教様をはじめ、殉教者聖ゲオルギオのフランススコ修道会日本管区長のマリア・テレジタ・ゴールドベック様、日本私立大学協会北海道支部支部長の苫米地司様、他、北海道内外の大学の理事長・学長様や学校教育に関連する各官庁等の方々など、多数の方々がお越しになっていました。式典終了後の記念講演会では、「学園運営の生命線としての建学の精神」と題して、学校法人聖心女子学院常務理事の日比谷潤子様のご講演がありました。



## 2024年度 講演会・総会開催について

日時：2024年5月18日(土) 10時30分～12時40分 場所：天使大学・2303講義室

出席者：代議員17名(委任状出席10名) 一般40名 役員12名の合計89名

総会に先立ち、フリーアナウンサーの佐藤麻美氏を講師に迎え「自分らしく笑顔で生きるために～ちゃんと食べてちゃんと寝る～」とのテーマで講演会が行われました。とてもパワーのあるお話で、食と健康の大切さを痛感する講演でした。

総会では、来賓の田畑学長より「明日は聖霊降臨の大祝日です。神から来た恵・愛が、人間同士の交わりの中にある。

聖霊の働きかけがなければいけません。現代社会の中で交わりが壊れている。一人一人を大切に交わりです。同窓会も聖霊の働きが大切なのです。」とご挨拶をいただきました。その後、式次第に沿って2023年度の事業・会計・監査報告、2024年度の事業計画・予算案について審議、承認されました(詳細はホームページをご覧ください)。最後に会長より、「法人合併に関しては皆様心配なこともあると思いますが、また何かの機会にお話しできたらと思います」との説明があり、閉会となりました。



## 支部長会議から

日時：2024年9月7日(土) 13時00分～15時00分

場所：天使大学・4203講義室

出席者：支部長・連絡担当者8支部9名

役員12名

寫田会長から、忙しい中、遠方や初めての支部長の出席があったことへの感謝の挨拶の後、支部長から活動状況が報告されました。どの支部も色々工夫しながら活動している様子が伺えました。その後、会長より事業計画の中間報告がありました。フリートークの情報交換では、活動する場所の確保や多くの会員への連絡や確認などの苦勞など、意見交換が活発に行われました。



## クラス幹事会から

日時：2024年11月9日(土) 13時00分～14時40分

場所：天使大学・4203講義室

出席者：合計63名 クラス幹事56名(栄養科26名、看護科30名)

役員11名(クラス幹事兼務4名)

寫田会長より、多忙にもかかわらず、たくさんの方々に出席いただいた事への感謝の挨拶と、2024年度入会式での支部活動のスライド上映や、出欠連絡方法にQRコードを取り入れた事等、新しい取り組みへの報告がありました。クラス幹事特別委員会からは、昨年行ったアンケート調査の結果を受けて、クラス幹事細則変更案、会員名簿の管理や貸出申請の方法についての提案があり、その後、選挙管理委員・役員候補者推薦委員・選挙立会人も、自薦・他薦によって決定されました。

最後に、事業計画の中間報告と、広報委員会からの『ぶらたなす60号』に関する連絡、会長からの大学施設使用に関する説明が行われ、閉会となりました。



## クラス幹事特別委員会から

天使大学同窓会は、従来クラス幹事が中心となり運営されてきました。2007年の代議員制度導入に伴い会則・細則の見直しを行い、クラス幹事が同窓会運営に大きく関与してきました。

約15年経過し、いくつかの課題が生じてきたため特別委員会を立ち上げ、2022年より課題解決に向けて8回の委員会を開催し検討を重ねました。2023年度のクラス幹事会においてアンケートを実施し課題の詳細を抽出し、特別委員会で検討し2024年度クラス幹事会にて下記の点について報告を行いました。

- 1) クラス幹事の役割の周知不足への取り組み
- 2) 同窓会との連携が疎遠になりつつある現状の食い止め
- 3) クラス幹事の役割の見直し(名簿管理の在り方、細則の変更)
- 4) 大卒者との連携

上記4点の改善案の提示を行い、全会一致の賛成を受けて同窓会理事会にて承認されました。詳細は2025年5月の総会で会員に周知する事として特別委員会を解散いたしました。ぜひ次回の総会へご出席の上ご確認いただければと思います。

### ★ 同窓会活動

#### 同窓会

5月：同窓会総会



9月：支部長会議



11月：クラス幹事会



3月：同窓会入会式 (卒業式前日)



5月：葦の会交流会

7月：奨学金認証式

12月：葦の会交流会

6月：タキさん

9月：葦の会交流会  
タキさん

タキさん

2月：葦の会新旧役員  
交流会



#### 大学

4月：入学式



6月：天使祭



11月：戴帽式



5月：  
合唱コンクール



10月：  
Step-up  
Ceremony



12月：体育祭



## 2025年度は役員選挙に向けての年！～役員選挙の流れ～

役員任期は3年間

現在の第6期役員任期は2023年度～2025年度です。  
第7期役員は2026年5月の総会にて選出されます。

選挙管理委員会

役員選挙を管理運営する

会長：1名

理事：15名以下

監事：2名

役員候補者推薦委員会

役員候補の推薦を管理する

### 総会

①同窓会 HP で選挙の告示  
【立候補届の締め切り：2025年9月30日】

②候補者の選定  
期限までに立候補届がなかった場合、  
役員候補者推薦委員会が候補者を選定し、  
立候補者名を選挙管理委員に送付

③候補者名、選挙日の公示  
12月末頃、ぶらたなす臨時号  
(選挙公報誌) を発行

④選挙投票  
2026年度の総会時に選挙投票を行う  
※投票権は、総会に出席した代議員のみにある

⑤開票  
選挙管理委員は、立会人のもと開票・集計し、  
総会議長に報告する

⑥承認  
候補者は、総会において承認を受ける

詳細は、会則第4章、細則 1. 選挙管理委員会細則、2. 役員候補者推薦委員会細則をご覧ください。

# 早わかり同窓会

## ★ 同窓会とは

建学の精神「愛をとおして真理へ」に基づき、会員相互の親睦と資質向上に努め社会に貢献する

## ★ 同窓会のあゆみ

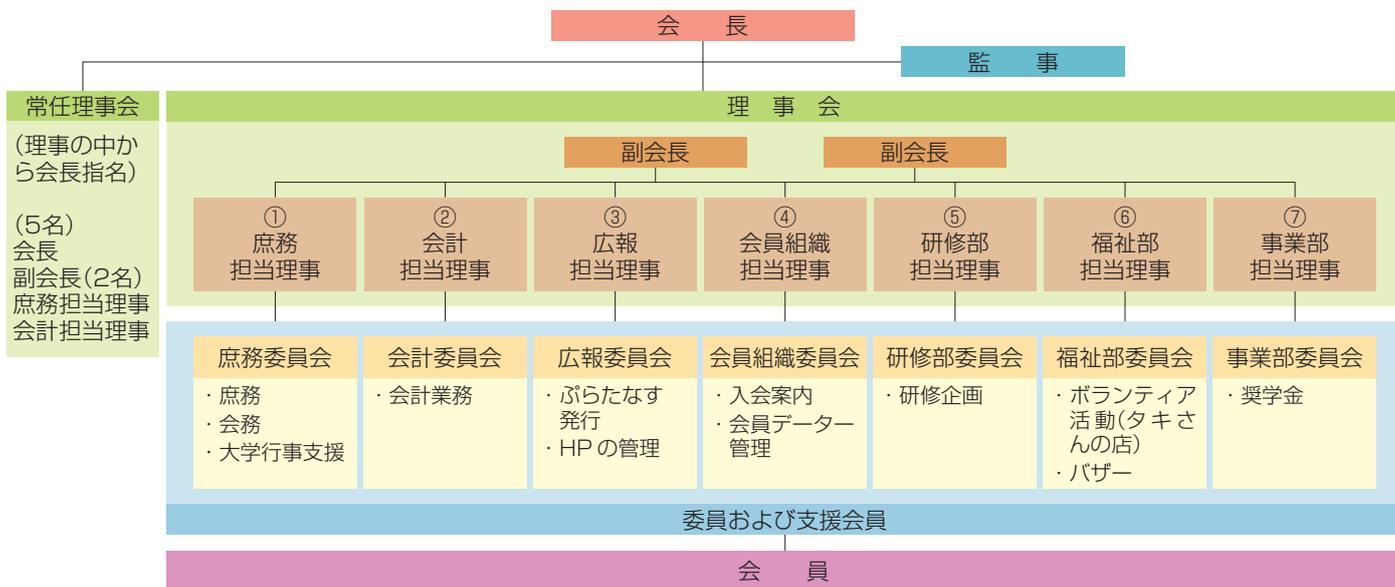
1950年にシスターベルダ・オット氏が同窓会会長として発足

## ★ 会員はどんな人？

- ①正会員：女子厚生専門学校、天使女子栄養学院、天使厚生短期大学  
天使女子短期大学、天使助産婦学校、天使女子短期大学専攻科  
天使大学および大学院を卒業または修了し所定の会費を納入した者
- ②学生会員：天使大学・大学院在学学生



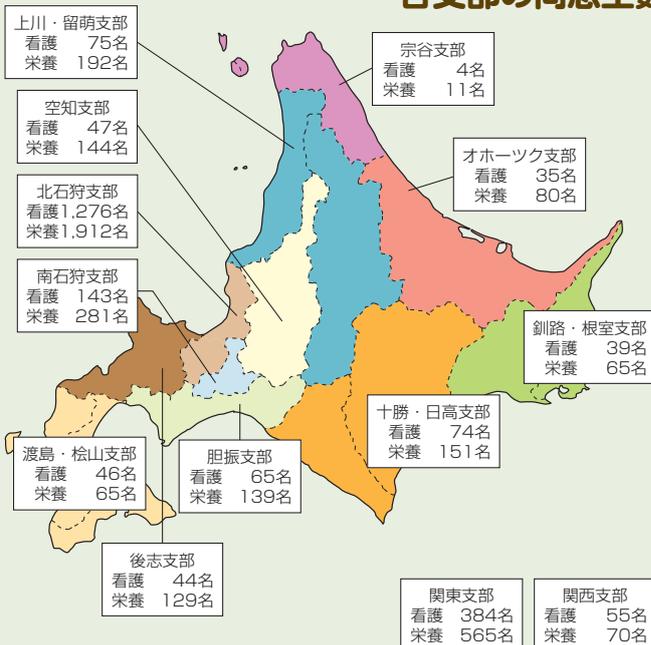
## 天使大学同窓会組織図



## 2024年度天使大学同窓会支部長および連絡担当者一覧

支部名	卒期	氏名
関東支部	看24	内田 雅子
関西支部	専37 助産研2	山本 亮子
北石狩支部	看41専26	安藤 陽子
	看26専12	池垣 和子
南石狩支部	栄31	関 真澄
渡島・松山支部	看41	蛭名 千昌
十勝日高支部	専16	太田千鶴子
宗谷支部	栄10	倉 洋子
釧路根室支部	栄21	前田 凉子
上川留萌支部	栄33	大里 寿江
後志支部	栄16	高橋 房子
オホーツク支部	栄17	北中 順子
空知支部	栄41	近藤 朋子
胆振支部	栄21	石坂 律子

### 各支部の同窓生数



(2025.3.1現在)

## 活躍する同窓生

## 寄稿 ②

古橋

愛美 (旧姓・船橋)

大学看護学科七回生

この度は、ぶらたなす記念号の発刊おめでとうございます。私は現在、広島県広島市の一部の地域で在宅医療介護連携推進事業に携わり、様々な職種の方のご協力を得ながら、多職種連携の見える化に取り組んでいます。現場の仕事ではありませんが、在学中に学んだ事に立ち返る機会が何度もあり、天使大学での学びが自分の専門職としての土台となっていると感じています。同期のみんなはお元気でしょうか？ きつと、各々の繋がりの中で近況の共有や、思い出話をしていると「もうすぐでお友達になって二十年だねー！」と振り返るシーンがあると思いますが、そうなんです！ 看護の門をくぐって二十年が経とうとしています。感慨深い！ それぞれ置かれている環境は違うと思いますが、皆様のさらなるご活躍や充実した毎日が続く事を祈っております

【恩 師】堀切さん

【思い出】合唱コンクール

(^^)/



## 和久井美紀 (旧姓・和田)

衛生看護科四十八回生

天使を卒業し、看護師として約十年働きました。看護の仕事は大変でしたが、大好きな仕事でした。今私は、難病患者として生活しています。元気に働いていたある日、突然体に異変が起こりました。初めはやり過ぎしていました。いつしか入院を繰り返すようになってしまいました。二年ほど病名が付かず、札幌から鹿児島までセカンドオピニオンを求め、やっと診断された病名は「アイザックス症候群」。聞いたことのない病名に不安を感じました。それまで患者さんに寄り添って看護をしていたつもりでしたが、患者はこんなにも不安なのだと思ってきました。落ち込んでもどうにかしたいと思う気持ちが強く、患者会(りんごの会)を立ち上げ、この病気を指定難病にもらうために活動を始めました。その甲斐あり、アイザックス症候群は二〇一五年七月に国の指定難病に認められました。現在は福祉サービスを活用しながら生活し、症状と折り合いをつけつつ、患者会活動を行っています。

二月の末日は世界希少・難治性疾患の日、Rare Disease Day (RDD) をご存知ですか？ 世界的にRDDイベントが開催されており、日本でも十五年前からイベントが開催されています。昨年よりRDD Japan事務局で地域担当として働いています。看護師の知識を持った難病患者として、できることを考え発信していきたいと思っています。人生何が起こるかはおわかりませんが、天使で学んだことは患者になって活かされていると感じています。これから

看護師になるみなさんには、希少難病にも目を向けていただけるよう期待しております。

【ニックネーム】みき

【恩 師】シスター和田、前田明子先生、三條裕子先生

【思い出】外科の実習が辛くて、グループのみんでチャペルで泣いたこと(笑)

## 米代 武司

大学栄養学科四回生  
大学院看護学専攻 二〇一〇年修

## 天使大学で学んだ栄養学への好奇心

天使大学の栄養学科を二〇〇七年に卒業した私は、研究者を志しました。天使大修士課程、北大博士課程(二〇一三年)を修了、米国に留学、東京大学や東北大学で研究職に就くという経歴で、珍しい例かもしれませんが、そのきっかけは、天使大学に在学中、実習や卒業研究の中で研究の楽しさを知ったことでした。

二〇〇八年に天使大学大学院修士課程に入學した私は齊藤昌之教授に師事し、褐色脂肪組織がエネルギー消費や生活習慣病リスクに及ぼす影響に関する研究に従事し、その成果を発表することができました。この間に天使大学で「栄養学への好奇心」を学び、同時にこれが「栄養学を牽引するのは管理栄養士・栄養士であるべき」という使命感へと育つていきました。その後、褐色脂肪の研究にどんなのめりこんで米国に留学し、研究をより深めることができました。留学中はまったく違う文化と言語の中で研究活動に集中し、休日は海外旅行を楽しむ感覚でいろんな観光地を回るな

ど、とても楽しく人生観が変わるような期間を過ごすことができました。

大変幸せなことに、帰国後も研究を続けながら刺激的な毎日を過ごしています。このような体験の中で強く実感したことは、「栄養学科」の外にも健康や疾患に関連する研究領域が数多くあるという事実でした。そのほとんど、例えば医学、農学、生理学、生化学、代謝学などの本質には「栄養学」が深く深く絡んでいます。管理栄養士が活躍できる職域や職場は思ったよりも広いと感じています。天使大学で多くの恩師に出会うことがなければ、このような人生はあり得ませんでした。多くのチャンスや人生の分岐、そして「栄養学への好奇心」は今でも私の原動力になっており、これらを与えてくれた天使大学には心から感謝しています。

## 相田

由希 (旧姓・荒木閑)  
大学院助産研究科三回生

卒業してからもう少しで二十年、ここまで助産師を続けてこれたのは、天使での経験があったからだと思います。みんなで協力して乗り越えた病院実習、憧れの助産師像を明確にできた助産院実習。また同期たちとたくさん遊んだことも二年間の大切な思い出になっています。今でも時折思い出して仕事や育児を頑張っています。年数が経つに連れて同期に会う機会も少なくなってきた寂しいですね。みんなで集まり、たくさん報告や思い出話をしたいですね！

【ニックネーム】あらつきー

【恩 師】本宿先生、津田先生、山本先生

【思い出】助産院実習

### 野村那津子(旧姓:宮崎) 大学院助産研究科 二回生



四年前に出張専門助産所にご(茨城県)を開業。①産前産後…マタニティトレーナーとして妊婦さんの体づくりから関わり、産後は授乳指導だけでなく、食べる、歩くまでの赤ちゃんの発達をサポートする個別訪問や育児クラスを開催しています。赤ちゃんの発達については母子に関わる専門職に向けてオンライン講座を開催しています。②性教育…〇歳から乳幼児期、小中高校生、保護者向けの性教育講演を開催しています。性教育…人権教育と捉え、人と人との関わりを中心に参加者と対話し、暮らしの中の場面に落とし込んでいきます。③出産…助産学生さんの引率教員

として、出産に立ち会い、初心に戻って、学生さんと一緒にアセスメントしたり、テキストを見返したりしています。分娩開業している先輩助産師さんの担当する自宅出産に立ち会わせていただくこともあります。自宅出産では、どのお産も暮らしの中にあり、出産を通して、女性や家族が「大切にされること」、「自分で選ぶこと」を助産師がサポートしている関わりを学ばせていただいています。

在学中に、個性が輝き、自分らしく助産師として活躍されている開業助産師の先生方に出会えたこと、課題を一緒に乗り越え、学び合ってきた同期に恵まれたことが、今の私の助産活動につながっています。現在も助産専攻同期の仲間が近くで開業していることで、助産師としての在り方や活動、地域での産前産後ケアや性教育の普及について日々対話し、できることから取り組んでいます。助産師は暮らしに寄り添う専門家だと思っています。暮らしには明確な答えがないものも多いです。選ぶのは対象者。その選択肢を広げるための知識と選択を支えるスキルを学ぶことは大切ですが、まずは「あなた自身があなたらしく」いられるよう、学び会える、対話のできる仲間を見つけられることを祈っています。

【思い出】マダガスカル島に行き、現地の方の妊婦健診や分娩介助、乳児の予防接種などをさせてもらったことが印象に残っています。言葉も文化も違う国で出産の場に立ち合っていたとき、出産する女性の強さを感じたと同時に、「もつと女性が大切にされていい」とも感じました。

### 白石 澄枝 栄養科三十一回生



短大の食物栄養学科を卒業後、母校の職員として勤務し、あつと言う間に四十三年が経ちました。教務課(現学務課)を皮切りに、総務課、財務室(現財務課)、入試広報室(現入試広報課)、そして現在は図書情報課で課長職を拝命しております。事務局すべての課でお仕事をさせていただきました。短大から大学への改組転換、専門職大学院助産研究科の開設、天使学園創立七十周年記念事業、そして藤学園との法人統合と飛躍的に発展する母校を卒業生の一人として、また職員の一人としてリアルタイムで見守ってきました。

大学は専門的な学術研究の場であると同時に、人を育てる場でもあります。昭和から平成そして令和と変わる時代と共に、入学してくる学生達の気質は確かに大きく変化していると感じますが、それ以上に感じることは、天使での学びを身に付けて卒業する時の学生達の目覚ましい成長ぶりです。

それは、看護師、管理栄養士、助産師、保健師として質の高い専門的な知識や技術の修得はもちろんのこと、目の前の患者さん一人ひとりの人間性を大切に、親身になって精神的にも寄り添える、人としての優しさを身に付けた心のケアにあると感じています。

短大の教務課職員時代、何人ものシスターの皆様とお仕事をご一緒させていただく機会に恵まれました。その時に皆様がおっしゃっていたのは、「何をしなければならぬか」という原則的なものではなく、その時々々に相手の方が求めるものをくみ取り、行動に起こすことが大切です」

この言葉こそが、天使の学びの原点ではないでしょうか。これからも長い歴史と伝統に裏付けされた「天使スピリッツ」を大切に、天使の絆が絶えることなく繋がっていくことを切に願うばかりです。

【ニックネーム】しらいつちゃん

【恩師】樋口桂子学長、犬養勝一先生、広瀬アヤ子先生、小林則子先生、坂西雅子先生、原美智子先生、山本愛子先生、山口敦子先生、山部秀子先生、小林良子先生、杉山佳子先生 他

【思い出】短大一年生の時に参加した同窓会主催の海外研修旅行、フランスのホテルリッツでの料理教室で、一人ずつクレープシュレットを焼いて食べました。天使学園創立七十周年記念事業で企画した「天使学園ルーツを辿る旅」では、天使学園校章の由来となったマルセイユのノートルダム・ド・ラ・ギャルド大聖堂のモザイク画を見ました。また、ローマの修道院本部を訪ねて、創立者マリー・ド・ラ・パシオンのお墓参りをしてきました。



## 久保 香苗

大学栄養学科二回生

## 『本人が望む暮らしとは』在宅訪問

## 管理栄養士としての活動

私は現在、人工呼吸器などの医療的ケアが必要な小児や成人を対象に訪問診療をおこなっているクリニックで管理栄養士として勤務しています。天使大学に入学した頃は、自分の将来についてぼんやりとしたイメージしかありませんでしたが、四年次の病院実習で管理栄養士の仕事の面白さを実感し、卒業後は実習先の総合病院に就職しました。給食管理、外来栄養指導、病棟業務など、新しい仕事を覚えることに楽しさを感じ、転職先の循環器専門病院では自己研鑽のために資格取得や学会発表に励みスキルを磨きました。結婚、出産を経て再就職を目指しますが上手くいかず悩んでいた頃、『在宅訪問管理栄養士』という存在を知りました。自宅や施設など患者が暮らす場に訪問し、食事や栄養のサポートをおこなう仕事内容に感銘を受け、「管理栄養士として地域に暮らす人々の食と栄養をサポートする」という目標を掲げました。二〇一九年に『在宅訪問管理栄養士』の資格を取得し、現在の仕事の基盤となっています。

病院勤務時代は「食」を治療のひとつと捉え、患者に対して指導的立場でものごとを伝えることが多かったように思います。しかし、在宅医療から見ると「食」は、生き方や思想など個人の暮らしに大きく関わっています。特に、進行性の難病の場合には徐々に全身の機能が落ちていきます。「自分が食べたいものを、あとの位の期間食べることができるか」、そう思いながら生活している人にとっ

て「食」に関わる提案はとても慎重に行うべきことです。「ホットドックを一口食べるのに五分かかる」という患者がいた場合、医療面から見ると、咀嚼・嚥下機能と食形態が合っていないので、ホットドックは禁止し食形態を下げるなどの対応を安易にしてしまうことがあります。私たちは専門職ではありませんが、医療や福祉の視点が強くなりすぎると「支援」が「支配」に変わることがあります。医学的に正しくても本人が望まない支援を押しつけることが無いように在宅医療に関わる管理栄養士は、「本人が望む暮らしはどのようなのか」、「どのようなサポートを必要としているのか」の視点を忘れずに、ともに歩みながら「食」サポートすることが重要です。大学生活の四年間で、志をともにする友人や素晴らしい先生達に出会えたことが現在の自分に繋がっています。学生時代の友人とは今でも頻りに連絡を取り合い、お互いの仕事やプライベートなどを相談できる間柄として心の支えとなっています。

## 村瀬

千穂(旧姓 熊野)

大学栄養学科四回生



現在は療養型の帯広光南病院で管理栄養士として働いています。病院の給食が最後に口にする食事になることも多く、食事と栄養にできることは何か、言葉や視線での触れ合いを大切に一人一人の好みを感じ、喜びに繋がられ

ような食事を提供したいと模索する毎日です。また、卒業後は十勝日高支部同窓会活動に参加させて頂き、同じ大学で学んだという共通点だけで、何か同じ感覚を持てる温かい安心感は天使大学だからこそ！思いやり溢れる同窓生との素敵な交流の時間を楽しんでいます。そして、大学からの友人達は、会えば時間を忘れて遊び、仕事の相談もでき日々の英気を養えるかけがえの無い存在です。在学生の皆さん、大学生活は今しかできない貴重な経験で溢れています。ご自分の感性を大切に、楽しみながらお過ごし下さい。

【ニックネーム】ちは

【恩師】佐藤裕保先生

【思い出】修養会が印象深い学校行事でした。行く前は少し面倒、しかし栄養科全員でのお泊り会はクラスで盛り上がり友人との絆を深める楽しい時間でした。キャンドルリレーが幻想的で、その時にケン神父がかけてくれた権原敬之の「僕が一番欲しかったもの」は今でも好きな思い出の曲です。

## 前田 久恵

衛生看護科四十回生、専攻科二十五回生  
大学院看護学専攻看護学専攻修士課程修了(2020年修)

現在、地域がん診療連携拠点病院でがん看護専門看護師として働いています。十七年前に母(厚生科十四期)をがんで亡くした体験を機に大学院へ進学しました。母の死期の判断ができず他の家族が母へ感謝の言葉を伝えられなかったことへの後悔やがん患者の家族としてさまざまな体験をしたこと、そのとき看護職としての進路に悩んでいたことが契機となりました。母校を訪れ、短大や専攻

## 曾我 文子

厚生科三回生

## 同窓生より〜当時は振り返って〜

科でお世話になった久川洋子先生や菅原邦子先生方と運命の再会をしたことも進学への後押しになりました。大学院での二年間では、医療者としての経験や自身が歩んできたすべてのことを振り返るきっかけとなり、そのときに起きていることの背景や根拠を考えて意味を見いだすことが身につきました。これらの経験のすべてが、現在関わらせていただいているそれぞれの歴史を紡いできた中で病にあるがん患者さんやご家族についての理解を深めることに役立っていると実感しています。

同窓生の皆さまはこれからもお元気で過ごされますようお祈り申し上げます。在校生の皆さまはご自身の志を忘れず自分の望む道を歩んで欲しいと願っております。

旧制高等女学校五年を卒業して進学できる北海道の女子上級学校は、女子医専、藤女専、天使厚専の三校であった(以下、天使)。天使は全寮制でふとん袋一個と文机一台が持参を許され、広い畳の部屋に十名から八名位ずつが同居した。新築された校舎は畑の真ん中に威光を持ち、厚生科三期生と栄養学院一期生を迎えてくれた。昭和二十四年の春である。

当時、札幌の街はアメリカ駐留軍が多く混血児が捨てられ、戦後の外地引揚者等で雑然とし、国民は厳しい衣食住の忍耐生活だった。一方、天使のあの広い敷地には、修道院、病院、学校、寄宿舎、庭のルルドのマリア様、学

校の裏は広い畑、豚小屋、後日出来た天使乳児院等、あの光景は九十三歳を迎える齢になった今も彷彿と蘇り安心して学ぶことが出来る場所であったと七十年前を思い出す。

一年生の時は、北大教授達から多くの科目を教えられ、熱心に学んだ。昼食は寮の食堂へ走り、三個のおいもと味噌汁をいただいた。二年生になると全員が天使病院で実習。それぞれ配置された場所で先輩から指導を受け、午後は授業という規則だった。

三年生になると深夜動も加わり、乳児院の実習は大変だった。月齢別に調乳された哺乳瓶を七十名位の乳児に、落とさないようにベッドの柵に結び紐で固定し順回して乳児の口に含ませる。これが終わると全員のおむつ交換を一人で繰り返す頃に夜が明け、足がふらふらになった。引継ぎをして急ぎ朝食を済ませ学校へ講義を受けに走る。一の側といわれた外科病棟の深夜動は、夜中に訪れる急患をも対処しなければならず、クネグング様と外来で出産させた経験は、免許を持っているとは云え人生で最初であり最後にもなった。

クリスマスが近づく頃、学生有志による劇団ができる。合唱、演劇、器楽演奏等、一人で何役も受け持つ。行先は、籐舞療養所、苗穂女子刑務所、琴似の病院、真駒内教会等であった。大道具小道具をのせ、当時珍しいジープで冬に原野を走ったが、ジープは多分駐留軍の好意だったと思う。女子刑務所から迎えるトラックの荷台に乗っていった時、街の人達は私達を異様な目で見た。降りて気が付いた。トラックに大きく「苗穂女子刑務所」と書かれており、私達が収容されると思ったらしい。クリスマス劇を演じてみてくれた中の人達は広い体育館に正座していた。冬休みは五日間位だったが、ボランティアに夢中だった。

教育実習は全員現在の教育大学付属小中校

で行われ、教育現場での実習に皆の目が輝いた。受け入れ先の先生方も「女子学生の実習は貴女達だけなので熱が入る。」と言つて下さる。やがてお別れの時がきて、全校生徒が校歌を合唱して送ってくれる。皆下を向いてポタポタと涙を床に落とす。体育館の二月の寒気がその涙を氷らせた。

新しいシスターがアメリカから来られるというので皆張り切る。今度こそ負けないで絶対英語でいこう、日本語禁止でね、と。やがて来られたシスター・エバンジェリーナは、エリザベステアラーに似た美人、倫理の講義をするという。どれだけ英語を理解できるかチャンス、チャンスと皆興奮気味。「アナタガ、タワシ、ナケレバナリマセン」。ああ、こんなにピカピカの校舎で、いつか宮様をお迎えした時、スリッパがすつと脱げてしまった程の床なのに、日本のたわしを御存知なのだろうか。「貴女方はしなければなりません〇〇を。」理解する迄疲れ、九十分の講義の長かったこと。又、或る時、病院の掲示板前で足が止まった。「こんなミミズがはつたような字読めないでしょう、誰が書いたの、しかも全部ひらがなで。」すつと現れたエバンジェリーナ様。どうです上手でしょという笑顔で、私達の反応を見ている。負けました。彼女の前を「pardon me」と云つて通るのが、せめてもの意地であった。外国人シスターの多い環境の三年間だったので、英語力の努力不足を後悔している。

夕食後、御聖堂の二階で聖歌の練習をした。パリ音楽院出身ソプラノの修道院長様が指揮をして下さり、アルトのドイツ人バルトラダ様、ソプラノ美声のセラフィン様、オルガン伴奏は元天使短大学長の外崎陽子さん(同期生)、本当に幸せな時間だった。

テスト期間中でも十一時消灯。廊下に灯りが漏れないよう入口の戸に毛布を張って徹夜、翌

朝の点呼で規則を破った注意を受けた同室の十名。外に面した中庭の向こうは修道院で、そこから舎監様に連絡が入つたらしい。何という間の抜けた事を。翌日は寮の階段に腰を掛け、薄い電気でも一晩中ついていると思つたのに、それも咎められ、次は真夜中の浴場へ。静かに戸を開けた先に人が。毛布をかぶり勉強中の先輩ににらまれて退散。寝ようつと、寝よう寝よう、皆で寝れば怖くない、一番先に眠つたイチちゃん、がばーつと跳ね起きて、「...x+y+z+1+3dz=1/2log2...」 バタン、ぐう。夢の中で微積を解く友に感服した。

準夜動、深夜動後の講義中は睡魔とのたた

かい、手術場実習前夜の緊張感、それは、三年生がドクターのアシスタントをしなければならぬから。又、教科書も参考書も無い時代で、頼るのはノートだけ。大学ノート四冊を暗記して受けたテスト。二十歳の頃の脳は素晴らしい。こうして苦楽を共にした級友は姉妹のようになり、卒業後も大きな力で支え合い、同窓の友との絆も続いています。努力によって得た多くの資格は社会からも期待され、応えることが出来たと思う。得難い経験と充実した三年間の天使の教えは、九十三歳の今、老いの身とたたか

### 思い出のアルバム

#### 創立当時の天使女子短期大学校舎(1950年頃)



校舎正面



校舎裏 (芝生でバレーボール)

**8期**

クラスの皆様、お元気ですか。ある雑誌に、幸福もお腹も6分目にと100才の女性の言葉を目にしました。欲張らず、朗らかに一日一日を大切に過ごしたいものです。住所などの変更がありましたら同窓会にご連絡をお願いします。(小原まりこ)

**11期**

11期の皆様お元気でいらっしゃいますか？ 顧みますと卒業後64年も経ち忘れる程になってしまいました。最近の後藤道子、原田亜子、山井牧子の各氏と権丈で学生時代の思い出話を楽しんでおります。出札の折には、お声かけ下さいませ。(権丈勝子)

**12期**

12回生の皆様お変わりございませんか。卒業後はやくも63年。歳月はいろいろの思い出をつみかさねて来ました。6月に帰国されたシスター平間さんを修院に級友5人で訪問し、昔話に花を咲かせました。又、経年による変化や悩みなど己の旨にしまうことなく語り、互いに労わり合いの友情に私達の老いの胸を熱くしてくれました。無事な一日を感謝しつつ、“みなさん” お元気で過ごして下さい。(澤田園江・坂本浩子)

**18期**

“ルルド34”の皆様お元気ですか？ 私は庭仕事をして憂いさを忘れ、3度の食事を作り、読書を楽しみ、たまにアバのCDをかけて、踊っております。又みんなに会いたいです。(専3期：船越邦子)

**19期**

19期の皆様お変わり有りませんか？ 8月に北11条教会と天使大学を会場に日本カトリック看護協会の全国大会を開催し、御殿場から広田玲子さんが参加。前日の夕食は青山さんと西田叔子さんとで海鮮を堪能し久々の再会を喜ぶ。大会の2日間は私とご一緒。懐かしの階段教室や大変化したシベリア街道、玄関前では昔は白樺林だったねーと記念撮影。気分は50年前の学生に、容姿はバッチリ現在なり(笑)(青山妙子・佐藤昇子)

**23期**

もうすぐ後期高齢者、数人はお仕事そして趣味と病院通いが増えているようですが、加齢と闘いながら皆様自立して生活されているようです。ミニクラス会はいつでも可能です。ご連絡お待ちしております。(山崎明子・丸山美恵子)

**26期**

26期生の皆様、お変わりなくお元気でいらっしゃいますか。日々、体と心の調子を気にしながら生活しています。2年生の担任であった前田博子先生のご逝去の報に接し、深い悲しみの中にいます。今年予定しておりますクラス会で前田先生の思い出をお話ししましょう。幹事さんよろしく願いいたします。(本宿美砂子)

**26期**

皆さん、お変わりなくお過ごしでしょうか？ 昨年10月、2年時担任の前田博子先生が天国に召されました。ご冥福をお祈りしましょう。シスター水島は、札幌の修院に戻られています。是非、会いに出掛けられ、学生時代を懐かしんでください。(横山和枝)

**30期**

看30の皆様お元気ですか？ 仕事、介護、孫の世話、病気療養中…様々だと思います。だからこそ、2年に1度のクラス会で顔を合わせ美味しい料理を食べながら、21才にタイムスリップしませんか？ 元気ですよ！ 次回は2025年9月開催予定。久しぶりの方大歓迎！ 会える時に会おうよ！(工藤久美子・新岡奈美子)

**31期**

皆様お変わりありませんか？ コロナ禍を経てR5年秋、4年ぶりのクラス会@十勝川温泉は盛会でした。幹事の皆さん、お疲れ様でした。次回は登別温泉を予定しています。60代後半になり「人生いろいろ」。元気で再会できますように！(大賀浩子)

**36期**

皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか？ 今回10月上旬にクラス会開催できました事、とても嬉しく思っております。学生時代の思い出話から近況含め、あつという間の5時間喋りまくり(笑)。40年たっても心はあの頃のまま。又開催しますね。ふるって御参加を！(山本麻子)

**41期**

去る10月26日、21名のクラスメートに菅原先生を迎え、7年ぶりにクラス会を開催しました。お互い近況を報告し合い、懐かしい写真のスライドショーを眺めて、思い出話に花が咲きました。次回のクラス会は還暦の年に！ たくさんの方にお会いできますように。(宿南澄恵)

**大学7期**

皆様、大変ご無沙汰しております。お元気にしておられますか？ SNSがあるから…と、クラス幹事の役割をかなりいい加減にしてしまい、今更ながらごめんなさい！ きっと各々つながっているかと思うので、このメッセージを目にしたら、こんなあったけ見えて！ と、久しぶりの連絡のきかっけにして下さると嬉しいです。(古橋愛美)

**大学10期**

大学10期生の皆様お元気でしょうか。卒業してからなかなか会えていない方もいますが、きっとそれぞれの場所で活躍されているのだらうと思っています。私は幹事らしい事は何もできていませんが、毎年同窓会名簿の見直しは行っています。といっても、連絡先がわからない方もいて中々修正出来ていない状況なので、住所や氏名等変更のあった方はご一報頂けると嬉しいです。卒業して10年以上立ち、またいつか皆さんで近況報告しあえる日がくるのを楽しみにしています。(川口藍葉)

**助産学校・専攻科・大学院助産研究科****助12期**

皆様お変わりありませんか。久しく集まる機会が無く残念ですが、折々のお便り等でそれぞれが前向きに過ごしておられる様子に元気をもらっています。人生100年時代ですから、これからも頑張りますよ。御自愛下さいませ。(石津久美子)

**3期**

“ルルド34”の皆様お元気ですか？ 私は庭仕事をして憂いさを忘れ、3度の食事を作り、読書を楽しみ、たまにアバのCDをかけて、踊っております。又みんなに会いたいです。(再掲)(厚18期：船越邦子)

**15期**

看護科30期、専攻科15期の皆様、お久しぶりでございます。日々御活躍のことと思います。私は数年前に退職し、毎日ゆっくりと過ごしています。今ではママ友もできました。時には病の相談を受ける事もあり、天使で学んだことがとても役に立っています。(笹木葉子)

**19期**

ご無沙汰をお許し下さい。クラス会予定がコロナ禍や、身内の病気、高齢親たちの事、また自身の入院などで行わないままとなってしまいました。今後、幹事を交替してやっていただけの方は、北広島在住の中本に連絡下さい。お待ちしております。(中本雅恵)

**21期**

皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか？ 還暦を過ぎ、少しずつ体力・気力に自信を持てなくなる事もあるかもしれません。…が、楽しめる事を1つでもみつけ笑顔で過ごしたいものですね。“笑って進めば、ほぼ無敵！”です。(山本麻子)

**院2期**

みなさんお元気ですか？ 各方面でご活躍のことと思います。いつかまた北海道で再会できたら、と願っていますが、連絡先不明の方もおられますので、まずはメアドもしくはラインIDなどをお知らせ頂けると幸いです。どうぞよろしく願います！(専37期：山本(前川)亮子)

**院17期**

みなさんお元気で過ごしておりますか。卒業してから3年目になりますが、まだクラス会等開催できておらず申し訳ありません。今後開催したいと思っておりますので、その時はよろしく願います。またみんなで集まれる日を楽しみにしています！(大学17期：梶野磨理子)

# クラス幹事からのクラスメートへのメッセージ

## 栄養科・食物栄養科・大学栄養学科

### 22期

皆様お元気で過ごしてでしょうか。令和6年9月8日に天使大学にて20名の出席でクラス会を行いました。新校舎を見学し、懐かしい仲間と近況報告をして、楽しい時間を過ごしました。これからも健康に留意して、元気で頑張りましょう。(石井尚美)

### 24期

昨年よりA組クラス幹事になりました藤田(旧姓五十嵐)です。B組幹事西崎(旧姓沼田)さんと昨年11月16日に天使大学を会場に同期会を開催しました。卒業以来50年振りに、古希を迎えた方々が市内、神奈川、道北、道東より集まり合計24名。校舎内を見学して、当時学んだ階段教室前では「懐かしい」との言葉が出ました。古希を迎えましたが、未だお仕事に従事されている方もおり、介護、子守に「栄養科で学んだことを生かしている」発言に、2年の勉学が充実したものだった事が伺えました。次回の希望は喜寿での再会(最後?!)でした。今回参加出来なかった方も含め健康に留意され集まると幸いです。(藤田美恵子)



### 24期

栄養科24期の皆様お元気ですか。11月16日にクラス会をA組と一緒に開きました。半世紀ぶりの再会に顔と名前が一致せず、暫く話すと次々と思いが甦り、おしゃべりや大笑いで時間の短いこと。次回は喜寿を目指して会えることを願ってます。(西崎和枝)

### 26期

栄養科26回生の皆様お変わりありませんか? 早いもので来年私達は記念すべき年齢(古希)を迎えることとなります。コロナ禍で永らくお待たせしておりましたA・B合同クラス会を2025年春～夏にかけて幹事で計画中です。詳細のご案内は後日となりますが、皆様のご参加お待ちしております。是非“古希”を皆で祈りましょう!(猪股順子・佐藤京子・宮武公子)

### 32期

栄養科32回生(S57年卒)のA組の皆様お元気にお過ごしでしょうか。還暦を迎える事、クラス会をしようと思っておりましたが、新型コロナウイルスによりできていません。何もしていない感じで申し訳ないです。連絡の取れる方々と計画できましたら、お知らせいたします。(池田寿子)

### 34期

去る7月6日、20数年ぶりにクラス会が行われました。旧幹事の原田ひろみさん、伊藤瑞子さん、ありがとうございます。次回は3～5年後に行いたいと思います。新幹事の松田清美と五十嵐由で企

画しますので、皆様お楽しみにお待ちくださいね。

(五十嵐由・松田清美)

### 37期

皆様お元気で過ごしてでしょうか。天使を卒業して早38年です。それぞれいろいろな分野でご活躍されている事と思います。還暦を迎える年には皆で集まりたいですね。お体を大切にしてください。(横山由紀子)

### 40期

栄養科40回生の皆様、お元気ででしょうか。私達の時代にはスマホがなく、連絡がとりづらかったですね。住所(所在)不明者を減らしたい…何かよい案がないか、名簿整理のたびに考えています、久しぶりに天使大学のホームページを開いてみませんか。(小川朝子)

### 大学2期

2回生の皆さん、お元気ですか? コロナがやっと落ち着いて同窓会の機会もある中で、遠方からの参加ができず申し訳なく思っています。また、昨今の物価の高騰で、食・栄養に対しても向かい風になっている厳しい時期でもあります。そんな折、皆さんとのLINEでのやり取りで近況確認をさせていただき、いろいろ多方面で頑張っておられたり元気な様子を伺うことができ、大変ありがたく思っております。いつか機会がありましたら、また語り合いたいです。(河原崎龍二)

### 大学21期

私は大学院で公衆衛生を学び研究に励んでいます。皆さんも新たな職場で日々奮闘されていることと思います。辛いときは同級生を頼りながら、共に専門職として頑張りましょう!(上田彩乃)

## 厚生科・衛生看護科・大学看護学科

### 3期

クラス3期生の皆様、思いに勝る気候変動と災害の2024年、元気で過ごしてでしょうか? 私、幹事の役を頂きながら皆様との連絡がスムーズにゆかず札幌近郊にお住まいと思う2、3の方との電話すら全く不通、私自身の体調から考えても「さもありなん?」と思うばかりです。現在私の知る限りでは、松村清子(旧姓小松:鹿兒島市)、土居蓉子(旧姓佐藤:静岡市)、曾我文子(旧姓古田:札幌)、渡辺溢子(旧姓長野:札幌)の4名のみです。藤大学との合併後の大学も気になる此の頃です。3期生の皆様、このメッセージを読まれましたら、是非近況、お知らせ下さい。(イッタンこと、渡辺溢子)



### 14期

皆様お元気ででしょうか、2024年9月24日、高山克子様が来札され、札幌組6名と、オシャベリ会を開催、その折、岩崎様の日常を拝聴致しました。80代を見事に楽しみ、弾けておられ(海外含む)、シヨンポリビッチ私等喝!!! 80代? 若い若い。私達も楽しみましょう、なんとしても。(関谷恵子)

## 同窓会入会式

2024年3月14日に、卒業生・修了生に同窓会入会式を実施しました。寫田会長からのお祝いの言葉と同窓会についてのお話の後、支部活動を知ってもらう試みとして、各支部長や連絡員の方々からメッセージや動画をいただき、スライドショーにして投影しました。同窓生の皆さんのご意見を参考にしながら、新たな世代の方々に少しでも同窓会の活動を身近に感じてもらえるようにしていきたいと思っています。



## 校友育成(葦の会交流会)

同窓会では、定期的に葦の会の学生との交流会を実施しております。天使祭では、模擬店の中から同窓会賞の提供を行いました。さらに、12月実施の体育祭では飲料水や景品の提供を行いました。今後も、同窓会への関心を持っていただけるような関わりを続けていきたいと考えています。



### 給付型奨学金制度

給付型奨学金制度が、二〇一九年四月から始まりました。同窓会事業目的の一つである「在校生への支援」のかなめとなることを願っております。

### 奨学金受給学生からのメッセージ

#### 看護学科一年

Yさん

この度は、天使大学同窓会の給付奨学金によるご支援をいただき、ありがとうございます。ご支援のおかげで日々の学習に加えて新しいことにも挑戦することができました。これからも天使大学で勉学に励み、心の支えとなる看護師になれるよう日々努力していきます。ありがとうございます。

#### 栄養学科一年

Sさん

このたび、同窓会給付奨学金の採用ありがとうございます。ありがとうございました。昨年までは一年生への給付は行わなかったと聞き、今年一年生に採用していただけたこと光栄です。この奨学金のおかげで学業に専念することができ、これから四年間管理栄養士になるという夢の実現に向けて、実習などを通して励んでいきたいと考えております。さらに大学生生活を充実したものにしたいです。改めて、ありがとうございます。

#### 助産研究科一年

Tさん

この度は天使大学同窓会の奨学金によるご支援をいただき、ありがとうございます。中学生の頃から助産師に憧れ、助産学を深く学べる天使大学大学院を志望しておりました。女性の生涯を支え人に寄り添うことができる助産師を目指して、またご支援いただいた事への恩返しができるように、今後より一層努力を重ねていきたいと思

に、今後より一層努力を重ねていきたいと思

#### 看護学科一年

Tさん

この度はご支援をいただき本当にありがとうございます。天使大学に入学し、たくさんの方と学んできました。特に臨地実習では日々のコミュニケーションを通して患者の思いや前の生活の背景、性格、価値観を汲み取ることで、看護師がその情報を多職種と共有し、患者の代弁者となりながら患者を中心とした多職種連携に繋がることを学びました。大学生活を有意義に、勉学に励みながら充実した日々を過ごすことができ、最後にありますが、これからも多くのことを吸収し憧れである看護師になれるよう努力していきます。この度は本当にありがとうございました。

#### 助産研究科一年

Hさん

この度は、天使大学同窓会の奨学金によるご支援をいただき、誠にありがとうございます。ご支援をいただいたおかげで、日々の学習や実習にかかる費用に充てることができ、充実した学生生活を送ることができております。貴会からの支援を励みに、母児の健康を守り、支えとなるような助産師を目指し、日々学びを深めてより一層努力して参ります。

### 天使大学同窓会給付奨学金 規定二部改訂のお知らせ

この度、同窓会給付奨学金規定を一部改訂いたしました。奨学生の資格としていた『学部生は二年次以上』との条件を廃止し、二〇二四年度の募集から、すべての学部生・大学院生を対象とする事といたしました。詳細は、天使大学同窓会ホームページ「奨学金事業」からも確認できます。

## 2023年度一般会計収支決算書 自2023年4月1日 至2024年3月31日

## 【収入の部】

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	摘 要
前年度繰越金	6,108,027	6,108,027	0	一般会計 普通預金、現金
<b>1. 会費収入</b>				
①入会金	9,750,000	9,750,000	0	2023年3月卒業生 @50,000×195名分
②賛助金	1,000,000	1,045,000	45,000	ゆうちよ振替口座・現金 合計425人
<b>2. 雑収入</b>				
①福祉委員会	100,000	97,200	▲2,800	タキさんの店収益金
②受取利息	100	83	▲17	一般会計普通預金利息
合 計	<b>16,958,127</b>	<b>17,000,310</b>	<b>42,183</b>	

## 【支出の部】

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額	摘 要
<b>1. 一般管理支出</b>				
①総会費	500,000	341,906	158,094	事務通信費、茶菓代、作業等の交通費・日当
②会報誌発行費	2,000,000	1,558,887	441,113	「ぶらたなす」59号発行、発送費
③クラス幹事通信助成費	80,000	29,147	50,853	11件申請
④同窓会入会式費	1,200,000	777,030	422,970	記念品 (印鑑付ノックペン作製費)、お弁当代
⑤会議費				
・理事会費	300,000	132,298	167,702	理事会会議費・交通費・日当
・常任理事会費	250,000	91,562	158,438	常任理事会費・交通費・日当
・支部長会議費	350,000	181,344	168,656	9/9開催 出席旅費交通費・日当等
・クラス幹事・代議員会議費	350,000	343,973	6,027	幹事会議11/11開催出席交通費・日当等
・役員候補推薦・選挙管理委員会費	0	0	0	
・その他会議費	400,000	115,020	284,980	大学・葦の会との交流他 定期外会議等の交通費・日当
⑥通信費	600,000	255,269	344,731	ひかり通信 (電話等) 料、郵便発送費 クラス幹事宛会員名簿返・送付レターパック (400枚) 代 他
⑦その他旅費・交通費	200,000	90,464	109,536	支部主催会議他会議出席旅費交通費
⑧消耗備品費	700,000	276,441	423,559	事務用品・用紙等代、コピー機等リース料、コピー料
⑨印刷費	200,000	0	200,000	
⑩慶弔費	150,000	90,937	59,063	大学行事スタンドフラワー代、弔電費助成 (2件)
⑪支払報酬費	800,000	565,000	235,000	事務業務パート料
⑫データベース管理費	150,000	99,770	50,230	同窓会名簿データメンテナンス年2回
⑬ホームページ維持管理費	120,000	92,111	27,889	HPサーバ更新・管理料 (2024度分前払)
⑭雑費	38,127	0	38,127	
⑮同窓会室使用料	300,000	300,000	0	同窓会室・調理実習室等使用料
<b>2. 各支部事業助成</b>	1,700,000	1,023,925	676,075	関東、関西、南石狩、オホーツク、上川留萌、 渡島松山、空知、十勝日高
<b>3. 各委員会活動支出</b>				
①庶務委員会	80,000	54,056	25,944	活動費・交通費・日当
②会計委員会	80,000	75,687	4,313	活動費・交通費・日当
③広報委員会	40,000	33,210	6,790	活動費・交通費・日当
④会員組織委員会	50,000	23,001	26,999	活動費・交通費・日当
⑤研修委員会	20,000	0	20,000	活動費・交通費・日当
⑥福祉委員会	200,000	150,364	49,636	活動費・交通費・日当
⑦事業委員会	50,000	22,532	27,468	活動費・交通費・日当
⑧特別委員会	100,000	48,125	51,875	活動費・交通費・日当
<b>4. 寄付金支出</b>	500,000	500,000	0	令和6年能登半島地震義援金
<b>5. 学生活動助成金</b>	1,200,000	958,720	241,280	ボランティア活動・研修・学外活動等への支援、 天使祭、体育祭助成 他
<b>6. 積立金支出</b>				
・事業準備積立金	3,000,000	3,000,000	0	事業準備積立定期預金
・奨学金積立金	500,000	500,000	0	特別会計奨学金事業普通預金
<b>7. 未払金</b>	150,000	50,000	100,000	一般会計繰入後の退学返金等
<b>8. 予備費</b>	600,000	0	600,000	
合 計	<b>16,958,127</b>	<b>11,780,779</b>	<b>5,177,348</b>	

2024年度繰越金 収入合計17,000,310 - 支出合11,780,779 = 5,219,531

## 2023年度特別会計収支決算書 自2023年4月1日 至2024年3月31日

## 特別会計Ⅰ 奨学金

## 【収入の部】

(単位:円)

科目	特別会計Ⅰ(奨学金)	摘要
前年度繰越金	15,118,531	
奨学金事業繰入収入	500,000	
貸与金返金	75,000	奨学金貸与者返金 1名
受取利息	127	
合計	15,693,658	

## 【支出の部】

(単位:円)

科目	特別会計Ⅰ(奨学金)	摘要
給付型奨学金	302,310	100,000×3名・送金手数料
合計	302,310	

2024年度繰越金

収入合計15,693,658円 - 支出合計302,310円 = 15,391,348円

## 特別会計Ⅱ 前受金

## 【収入の部】

(単位:円)

科目	特別会計Ⅱ(前受金)	摘要
前年度繰越金	41,524,028	普通・定期預金
入会金収入	10,100,000	2023年4月入学200名、2022年度入学2名 入会金 @50,000×202名
受取利息	580	前受金普通預金・定期預金
合計	51,624,608	

## 【支出の部】

(単位:円)

科目	特別会計Ⅱ(前受金)	摘要
2023年度一般会計収入繰入れ	9,750,000	2019年度入学生入会金 @50,000×195名
退学者入会金返金	200,000	退学者4名返金
合計	9,950,000	

2024年度繰越金

収入合計51,624,608円 - 支出合計9,950,000円 = 41,674,608円

## 一般会計財産目録 2024年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
資産の部		
一般会計資産		
現金	783,334	
北洋銀行普通預金	4,436,197	
ゆうちょ銀行振替口座	486,130	5,705,661
事業準備積立金		
北洋銀行定期預金	61,197,062	61,197,062
資産合計		66,902,723

## 特別会計Ⅰ(奨学金) 財産目録 2024年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
資産の部		
預貯金		
北洋銀行普通預金	15,391,348	15,391,348
資産合計		15,391,348

## 特別会計Ⅱ(前受金) 財産目録 2024年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		前受金(入会金)内訳
資産の部			
北洋銀行普通預金	123,565		①2020年度(209人) 10,450,000
北洋銀行定期預金	41,551,043		②2021年度(201人) 10,050,000
			③2022年度(213人) 1,065,000
			④2023年度(200人) 1,000,000
資産合計		41,674,608	

## 2024年度特別会計予算 自2024年4月1日 至2025年3月31日

## 特別会計Ⅰ 奨学金

## 【収入の部】

(単位:円)

科目	特別会計Ⅰ(奨学金)	摘要
前年度繰越金	15,391,348	
奨学金事業繰入収入	500,000	
受取利息	150	
合計	15,891,498	

## 【支出の部】

(単位:円)

科目	特別会計Ⅰ(奨学金)	摘要
給付型奨学金	800,000	@100,000×8名 予定
合計	800,000	

## 特別会計Ⅱ 前受金

## 【収入の部】

(単位:円)

科目	特別会計Ⅱ(前受金)	摘要
前年度繰越金	41,674,608	
入会金収入	8,450,000	2024年4月入学生入会金 @50,000×169名
受取利息	500	北洋銀行普通預金
合計	50,125,108	

## 【支出の部】

(単位:円)

科目	特別会計Ⅱ(前受金)	摘要
2024年度一般会計収入繰入れ	10,450,000	2024年3月卒業生 入会金@50,000×209名
合計	10,450,000	

## 2024年度一般会計予算書 自2024年4月1日 至2025年3月31日

## 【収入の部】

(単位:円)

科目	前年度予算額	2024年度予算額	増減額	摘要
1 会費収入				
①入会金	9,750,000	10,450,000	700,000	2024年3月卒業209名×@50,000
②賛助金	1,000,000	1,000,000	0	
2 雑収入				
①福祉委員会	100,000	100,000	0	タキさんの店収益金
②受取利息	100	100	0	一般会計普通預金利息
4 前年度繰越金	6,108,027	5,219,531	▲888,496	銀行普通預金、現金
合計	16,958,127	16,769,631	▲188,496	

## 2024年度一般会計予算書 自2024年4月1日 至2025年3月31日

## 【支出の部】

(単位：円)

科目	前年度予算額	2024年度予算額	増減額	摘要
<b>1 一般管理支出</b>				
①総会費	500,000	1,000,000	500,000	総会準備・総会関連費 (交通費・日当等)
②会報誌発行費	2,000,000	2,000,000	0	「ぶらたなす」60号発行・発送費
③クラス幹事通信助成費	80,000	80,000	0	
④同窓会入会式費	1,200,000	1,200,000	0	記念品 (印鑑付ノックペン、ストラップ) 作製費 入会式お弁当代 等
⑤会議費				
・理事会費	300,000	300,000	0	理事会会議費・交通費・日当
・常任理事会費	250,000	250,000	0	常任理事会会議費・交通費・日当
・支部長会議費	350,000	350,000	0	支部長会議、作業事務等の交通費・日当
・クラス幹事・代議員会議費	350,000	450,000	100,000	クラス幹事会議、作業事務等の交通費・日当
・役員候補推薦・選挙管理委員会費	0	0	0	
・その他会議費	400,000	300,000	▲100,000	大学・葦の会交流会等定期外会議交通費・日当 他
⑥通信費	600,000	600,000	0	ひかり通信 (電話等)、郵送費、幹事宛会員名簿送付レターバック、USB等
⑦その他旅費・交通費	200,000	200,000	0	外部主催会議への出席旅費 等
⑧消耗備品費	700,000	700,000	0	事務用品・用紙代等、コピー機等リース料代、コピー代 他
⑨印刷費	200,000	200,000	0	会則・細則、封筒印刷等
⑩慶弔費	150,000	150,000	0	大学行事のスタンドフラワー代、会員弔電助成等
⑪支払報酬費	800,000	800,000	0	事務業務パート料
⑫データベース管理費	150,000	150,000	0	同窓会名簿データメンテナンス年2回、データ追加修正
⑬ホームページ維持管理費	120,000	120,000	0	HPサーバ更新・管理料 (次年度前払分)
⑭雑費	38,127	29,631	▲8,496	残高証明書発行手数料等
⑮同窓会室等使用料	300,000	300,000	0	同窓会室・調理実習室等使用料
<b>2 各支部事業助成</b>	1,700,000	1,800,000	100,000	支部活動助成
<b>3 各委員会活動支出</b>				
①庶務委員会	80,000	80,000	0	活動費・交通費・日当
②会計委員会	80,000	80,000	0	活動費・交通費・日当
③広報委員会	40,000	40,000	0	活動費・交通費・日当
④会員組織委員会	50,000	50,000	0	活動費・交通費・日当
⑤研修委員会	20,000	20,000	0	活動費・交通費・日当
⑥福祉委員会	200,000	200,000	0	活動費・交通費・日当
⑦事業委員会	50,000	50,000	0	活動費・交通費・日当
⑧特別委員会	100,000	100,000	0	活動費・交通費・日当
<b>4 寄付金支出</b>				
・災害義援金	500,000	500,000	0	
<b>5 学生活動助成金</b>	1,200,000	1,300,000	100,000	ボランティア活動・研修・学外活動等への支援、天使祭・体育祭助成等
<b>6 積立金支出</b>				
・事業準備積立金	3,000,000	2,000,000	▲1,000,000	事業積立定期預金
・奨学金積立金	500,000	500,000	0	特別会計Ⅰ奨学金事業普通預金
<b>7 未払金</b>	150,000	150,000	0	退学者入会金返金
<b>8 予備費</b>	600,000	720,000	120,000	
<b>合計</b>	<b>16,958,127</b>	<b>16,769,631</b>	<b>▲188,496</b>	

2025  
年度

## 同窓会講演会・総会・懇親会のお知らせ

2025年5月17日(土)

場所：天使大学  
(札幌市東区北13条東3丁目1-30)

8:30~	受付
9:00~10:20	代議員会 (6号館1階6101)
10:30~11:30	講演会 (2号館3階2303)
11:40~12:40	総会 (2号館3階2303)
12:40~14:30	昼食・懇親会 (6号館1階6101)

## 講演会テーマ

## ◆「天使学園と藤学園の法人合併の経緯について」

講師 松岡 健一  
前学校法人天使学園理事長

## ◆「法人合併1年の振り返りと今後の展望について」

講師 岩間 久哉  
学校法人藤天使学園理事  
法人局長  
天使大学事務局長

## 出欠のご連絡

※懇親会にご参加の方には軽食を  
ご用意いたします。

- ・「同封のハガキ」または、「QRコード」より  
ご連絡をお願いいたします。
- ・4月11日(金)まで(ハガキの場合は必着)



## 同窓生の皆様

日頃より、同窓会の活動にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。以下の四点についてお知らせいたします。

## 1. 賛助金

同窓会は、新会員からの前受金と会員の皆様の賛助金で運営しております。毎年「ぶらたなす」に振込用紙を同封させていただきます。ご協力をお願いしております。振込の際は、卒業期とID番号(ぶらたなす送付時の封筒宛名シールに明記)のご記入をお願いいたします。今後の活動として、同窓会の組織づくりや学生活動への支援(活動費の補助・奨学金)などに力を注いでいきたいと考えております。多くの会員からの賛助金をお願いいたします。

## 2. クラス幹事名簿

クラス幹事名簿を同封いたしました。連絡が取れていないクラス幹事の方々が多く、同窓会活動へ支障をきたしつつあります。★印がついている方は連絡が取れていませんので、同期の方で連絡がつく方は、是非同窓会事務局あるいはホームページよりご連絡を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

## 3. 弔電または供花の負担

同窓会を代表して弔電または供花をされる場合は、三千円を同窓会で負担いたします。差出人は必ず「天使大学同窓会」と明記してください。領収書を同窓会事務局宛に郵送していただきますと、後日お支払いをさせていただきます。

## 4. 災害義援金の寄付について

このたび令和六年九月能登半島豪雨で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、現地で奮闘されている医療従事者をはじめとする関係者の皆様へ深く敬意を表します。天使大学同窓会より、日本赤十字社を通じて災害義援金を寄付いたしました。

## 同窓会事務局への連絡について

同窓会室には、週三日パート職員が勤務しております(月・火・木 九時から十三時)。各種お問い合わせや住所変更などのご連絡・ご意見、ぶらたなすの原稿などを受け付けております。各支部への連絡先が不明な方は、いちど事務局までお知らせください。

- ①氏名、卒業学科・卒業期、②ご連絡先、③ご用件を忘れずにお知らせください。

なお、住所の変更やぶらたなすへの原稿や情報提供については、同窓会ホームページからもご連絡いただけますのでぜひご利用ください。

TEL/FAX(直通) 〇二一七二二一〇八八

メールアドレス

tenshi\_dousokai@iitac-plala.or.jp



同窓会ホームページ

tenshi-dosokai.com



## 編集後記

ぶらたなす六十号(記念号)の発行にあたり、ご多忙の中、原稿をお寄せ頂きました皆様は心より御礼申し上げます。至らない部分もありご迷惑もお掛けいたしました。皆様の天使愛を感じながらの年末年始の編集作業は感慨深いものがありました。次号以降は通常版に戻す予定ですが、続けて皆さまからの原稿と紙面特集のご希望などを承りたいと思っております。原稿の締め切りは、二〇二五年十一月一日(土)とさせていただきます。

広報・吉田